

■ 項目別評価

大項目1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

機構の評定 B

県の評定 B

令和5年度計画	指標/法人自己評価	県評価
<p>大項目1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	<p>小項目の自己評価はすべてB評価とした。本大項目の自己評価については、小項目をすべてB評価としたことから、B評価とした。</p> <p>(今後の課題と方針) 人口減少・少子高齢化や受療行動の変化など急速な外部環境の変化に的確に対応しながら、人材育成と外部との連携を強化して、引き続き質の高い医療を効率的に提供する。</p>	<p>●各病院は、地域医療、高度・専門医療、災害医療等、認知症の専門医療、介護サービスにおいて、県立病院が担うべき役割と使命を果たした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応について、信州医療センターをはじめ各病院は令和5年度も引き続き感染者受入れや発熱外来受入れ、検査やワクチン接種など、適切な診療や感染防止対策に貢献した。</p> <p>●地域医療構想における各地域での役割や、地域包括ケアシステム、市町村等関係機関との連携を推進した。</p> <p>●医師養成、機構職員の養成、県内医療技術者の技術水準の向上を推進した。信州木曾看護専門学校は、看護師の輩出に貢献した。</p> <p>●研修等の実施により事故等の件数が概ね改善しているほか、クリニカルパスや入退院支援などの取組により、患者サービスの向上に努め満足度の向上につながっている。</p> <p>●オンライン診療等の積極的な導入により、医療従事者の負担軽減や業務の効率化、地域の診療機能の充実に取り組んでいる。</p> <p>●信州大学等と連携した研究活動、研究調査や出前講座、広報等に積極的に取り組んでいる。</p>

【今後取り組むべき課題】

- 信州木曾看護専門学校について、認知度向上への様々な取組は計画や前年度実績を上回って実施されているが、受験者数、入学者数ともに前年から減少していることから、更なる対策に取り組まれない。
- クリニカルパスや入退院支援などの取組を今後も継続し、その効果を患者満足度で確認することにより、患者サービスの一層の向上に取り組まれない。
- 患者満足度調査について、病院間で異なる調査方法を用いており比較や評価が難しいため、機構内で統一した尺度で満足度を測れるよう検討されたい。

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																																																																		
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価																																																																		
小項目1-1 県立病院が担うべき医療等の提供	(指標毎の評価) 機構全体	20	35	35	6	1	B	B	●各病院は、地域医療（地域医療、へき地医療）、高度・専門医療（感染症、精神、高度小児・周産期、がん）、災害医療等、認知症の専門医療、介護サービスにおいて、県立病院が担うべき役割と使命を果たした。																																																																	
細項目1-1-1 地域医療の提供	(指標毎の評価) 機構全体	14	19	22	5	0	B	B	●各病院は、地域の医療需要に応じ、救急医療、産科医療、在宅医療等求められる医療を適切に提供し、県立病院が担うべき役割と使命を果たした。																																																																	
ア 地域医療 各病院は、地域の医療需要に応じた診療体制を整備するとともに、診療機能の充実を図る。 阿南病院及び木曽病院は、関係機関等と連携し在宅医療を提供する中で、地域包括ケアシステムの中核としての役割を果たす。 信州医療センターは、産科の常勤医師、助産師の確保と院内助産体制の整備を行い、産科医療体制の充実を図り、木曽病院は、産科医療体制を維持する。 【令和5年度に推進する事項】 ・産後の母親のメンタルヘルスを向上させる「須坂モデル」を基盤に地域との連携を強化し、産後ケア事業を拡充（信州） ・産婦人科常勤医師の確保、院内助産体制の整備、助産師の活用に努め、地域の分娩を担う施設として産科医療体制を維持（同上） ・院内保育所を活用した妊婦健診時の子供の一時預かりの実施（同上） ・常勤医師の確保等による診療体制の充実（阿南） ・休日リハ・小児リハ等の安定的提供に向けた体制の整備（同上） ・患者サポートセンターを移転改築し、機能の拡充を図り関係機関との連携を強化（木曽） ・地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を推進（こども）	【在宅医療件数（訪問診療・訪問看護・訪問リハ）】（件） 【分娩件数】 （単位：件） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>6,420</td> <td>5,987</td> <td>信州医療センター</td> <td>250</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>2,430</td> <td>1,845</td> <td>木曽病院</td> <td>65</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>3,815</td> <td>3,211</td> <td>こども病院</td> <td>300</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>5,150</td> <td>4,483</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>60</td> <td>74</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	6,420	5,987	信州医療センター	250	189	こころの医療センター-駒ヶ根	2,430	1,845	木曽病院	65	76	阿南病院	3,815	3,211	こども病院	300	265	木曽病院	5,150	4,483				こども病院	60	74				【救急患者数】 （単位：件） 【応需率】 （単位：%） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>7,739</td> <td>6,778</td> <td>信州医療センター</td> <td>95.2</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>169</td> <td>177</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>1,254</td> <td>1,612</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>3,398</td> <td>3,506</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>3,462</td> <td>3,745</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	7,739	6,778	信州医療センター	95.2	96.1	こころの医療センター-駒ヶ根	169	177				阿南病院	1,254	1,612				木曽病院	3,398	3,506				こども病院	3,462	3,745			
病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																																																					
信州医療センター	6,420	5,987	信州医療センター	250	189																																																																					
こころの医療センター-駒ヶ根	2,430	1,845	木曽病院	65	76																																																																					
阿南病院	3,815	3,211	こども病院	300	265																																																																					
木曽病院	5,150	4,483																																																																								
こども病院	60	74																																																																								
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																					
信州医療センター	7,739	6,778	信州医療センター	95.2	96.1																																																																					
こころの医療センター-駒ヶ根	169	177																																																																								
阿南病院	1,254	1,612																																																																								
木曽病院	3,398	3,506																																																																								
こども病院	3,462	3,745																																																																								
	【救急車受入件数】 （単位：件） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>1,960</td> <td>2,116</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>292</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>1,222</td> <td>1,186</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>387</td> <td>482</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	1,960	2,116	阿南病院	292	312	木曽病院	1,222	1,186	こども病院	387	482																																																										
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																								
信州医療センター	1,960	2,116																																																																								
阿南病院	292	312																																																																								
木曽病院	1,222	1,186																																																																								
こども病院	387	482																																																																								
	【手術件数】 （単位：件） 【全身麻酔手術件数】 （単位：件） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>1,697</td> <td>1,823</td> <td>信州医療センター</td> <td>671</td> <td>833</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>88</td> <td>102</td> <td>木曽病院</td> <td>221</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>457</td> <td>494</td> <td>こども病院</td> <td>1,414</td> <td>1,449</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>1,583</td> <td>1,596</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	1,697	1,823	信州医療センター	671	833	阿南病院	88	102	木曽病院	221	169	木曽病院	457	494	こども病院	1,414	1,449	こども病院	1,583	1,596																																														
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																					
信州医療センター	1,697	1,823	信州医療センター	671	833																																																																					
阿南病院	88	102	木曽病院	221	169																																																																					
木曽病院	457	494	こども病院	1,414	1,449																																																																					
こども病院	1,583	1,596																																																																								

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																																																																																					
	病院名	S	A	B	C	D	評価																																																																																						
(1-1-1ア 続き)	<p>【分娩件数】 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>253</td> <td>250</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>78</td> <td>65</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>312</td> <td>300</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table> <p>【産後ケアの実施状況 (母の数)】 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>13</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【在宅医療件数 (訪問診療・訪問看護・訪問リハ)】 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>7,864</td> <td>6,420</td> <td>5,987</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>3,631</td> <td>3,815</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>4,618</td> <td>5,150</td> <td>4,483</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>51</td> <td>60</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>【機器共同利用件数(オープン検査含む) (CT)】 (件) 【機器共同利用件数(オープン検査含む) (MRI)】 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>416</td> <td>360</td> <td>信州医療センター</td> <td>327</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>30</td> <td>63</td> <td>阿南病院</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>71</td> <td>102</td> <td>木曽病院</td> <td>13</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>【機器共同利用件数(オープン検査含む) (リニアック)】 (件) 【機器共同利用件数(オープン検査含む) (ガンマカメラ)】 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども病院</td> <td>788</td> <td>2,198</td> <td>こども病院</td> <td>45</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>●信州医療センター ○産科医療体制の充実 ・須高地域の分娩を担う施設としての役割を果たすため、助産師と医師が協働し院内助産を継続。院内助産の対象基準を見直した結果、昨年度の実施件数2件から8件へ増加。 ・今後も、夫の育児休暇取得による里帰り分娩の減少、出生数の減少に伴い分娩件数の減少が予測されるため、院内助産以外にも助産師活用の検討が必要。 ・訪問診療、訪問看護、訪問リハビリを継続して実施。 ・訪問診療について、紹介があっても医師不足のため受入れ不可となる場合があり、対計画値で減少。 ・訪問看護について、利用者数は増加したが、ターミナル療養者(終末期療養者)の依頼が減少し、緊急時の対応を求める患者が増加。患者一人当たりの訪問件数が減少したため、対前年度値、対計画値で減少。</p>							病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	信州医療センター	253	250	189	木曽病院	78	65	76	こども病院	312	300	265	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	13	42	木曽病院	4	5	こども病院	2	2	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	信州医療センター	7,864	6,420	5,987	阿南病院	3,631	3,815	3,211	木曽病院	4,618	5,150	4,483	こども病院	51	60	74	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	416	360	信州医療センター	327	206	阿南病院	30	63	阿南病院	15	12	木曽病院	71	102	木曽病院	13	38	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	こども病院	788	2,198	こども病院	45	54		
病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績																																																																																										
信州医療センター	253	250	189																																																																																										
木曽病院	78	65	76																																																																																										
こども病院	312	300	265																																																																																										
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																																											
信州医療センター	13	42																																																																																											
木曽病院	4	5																																																																																											
こども病院	2	2																																																																																											
病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績																																																																																										
信州医療センター	7,864	6,420	5,987																																																																																										
阿南病院	3,631	3,815	3,211																																																																																										
木曽病院	4,618	5,150	4,483																																																																																										
こども病院	51	60	74																																																																																										
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																																								
信州医療センター	416	360	信州医療センター	327	206																																																																																								
阿南病院	30	63	阿南病院	15	12																																																																																								
木曽病院	71	102	木曽病院	13	38																																																																																								
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																																																																								
こども病院	788	2,198	こども病院	45	54																																																																																								

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																						
	病院名	S	A	B	C	D	評定																							
(1-1-1ア 続き)	<p>●こころの医療センター駒ヶ根 ・訪問看護ステーション「こまほす」について、伊南地域の2事業所の開設、利用者の訪問キャンセル等により、訪問件数が前年度よりも減少(1日平均10件目標に対し8件) ・利用者の再入院防止及び新規利用者確保に向け、地域クリニックとの連携を強化するため、近隣医療機関への訪問を実施</p> <p>●阿南病院 ・常勤医師不在の売木村診療所へ代診医師を派遣するとともに、オンライン診療を実施した。また、診療所との連携を推進し、医療機器の共同利用を行った。</p> <p>●木曽病院 ・在宅療養支援病院として、24時間の訪問看護及び訪問診療の提供が可能な体制を維持。 ・へき地診療所への医師派遣の継続及びへき地巡回診療のオンライン診療を開始。</p> <p>●こども病院 ・24時間の救急担当医配置などの救急医療体制をとる中で、救急患者の受入や、ドクターカーの出動を行い、長野県の小児高度救急医療及び地域小児救急の後方支援機能を果たした。なお、小児緊急入院患者数は1,016人となり対前年度で159人増加。 ・地域医療支援病院として、地域の医療従事者に対する研修や機器の共同利用など、地域に開かれた病院として地域の医療機関との連携を推進した。</p>							評定	—																					
<p>イ へき地医療 阿南病院及び木曽病院は、へき地医療拠点病院として、救急医療体制を含めた地域住民への医療提供体制を維持するとともに、関係機関等との連携のもと、無医地区への巡回診療を行う。 また、へき地診療所からの要請に基づき医師を派遣する等の支援を行う。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】 ・地域の医療、保健及び福祉関係機関との連携強化による無医地区の支援の充実(阿南・木曽) ・へき地診療所への代診医師の継続派遣及びオンライン診療の実施(阿南) ・医療機器の共同利用などによる下伊那南部地区診療所との連携(同上) ・準地域医療人材拠点病院として診療所への医師の派遣(木曽)</p>	<p>【巡回診療実施回数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阿南病院</td> <td>26回(75人)</td> <td>25回(74人)</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>12回(12人)</td> <td>12回(12人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【売木村診療所診療回数】(阿南病院) (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療回数</td> <td>77</td> <td>92</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>うちオンライン診療</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>●阿南病院 ・病院への来院が難しい阿南町和合地区における巡回診療の実施(月2回) ・常勤医師不在の売木村診療所へ代診医師を派遣するとともに、オンライン診療を実施した。また、診療所との連携を推進し、医療機器の共同利用を行った。</p> <p>●木曽病院 ・へき地診療所への医師派遣の継続及びへき地巡回診療のオンライン診療を開始。(上記12回のうち4回がオンライン)</p>							病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	阿南病院	26回(75人)	25回(74人)	木曽病院	12回(12人)	12回(12人)	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	診療回数	77	92	79	うちオンライン診療	30	44	29	評定	—
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																											
阿南病院	26回(75人)	25回(74人)																												
木曽病院	12回(12人)	12回(12人)																												
病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績																											
診療回数	77	92	79																											
うちオンライン診療	30	44	29																											
	<p>●阿南病院と木曽病院は、へき地医療拠点病院として、へき地診療所への代診医の派遣、オンライン診療の実施等を行い、地域住民への医療提供を維持した。 ・巡回診療実施回数は、概ね計画通り実施されている。 ・木曽病院はオンライン診療を開始した。</p>							評定	—																					

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							評定	県評価																																	
	病院名	S	A	B	C	D	評定																																			
細項目1-1-2 高度・専門医療の提供 ア 感染症医療（新型コロナウイルス感染症対応を含む。） 各病院は、県が実施する感染症対策と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応を引き続き行う。また、感染防止対策を徹底し、院内感染の防止を図る。 信州医療センターは、県の感染症医療の拠点病院として、感染症に対し適切な診療を提供するほか、感染症発生時に迅速な対応ができるよう定期的に受入訓練を実施するとともに、教育機能の拡充及び医療機関、地域住民への最新情報の発信に努める。 【令和5年度に推進する事項】 ・新型コロナウイルス感染者のうち、高齢者、基礎疾患を有する中等症患者を常時受け入れられるよう体制を維持（信州） ・海外渡航者外来での海外赴任者等に対するワクチンの予防接種及び帰国後の輸入感染症への対応（同上） ・渡航者に対するビジネスPCR検査やスクリーニング抗原検査を自費診療で行う体制を維持（同上） ・第一種感染症指定医療機関として集団発生等に適切に対応するため、受入訓練を実施（同上） ・新興感染症に迅速に対応するため、一般病棟の陰圧個室を改修(同上) ・精神疾患を有する新型コロナウイルス感染者（疑い含む）の受入れ及びデイケアの継続（駒ヶ根） ・新型コロナウイルス感染者の受入れ、検査体制の維持（阿南） ・感染管理認定看護師の近隣高齢者施設等への派遣（同上） ・感染者の受入れ、発熱外来及び行政検査や自費での新型コロナウイルス検査の継続（木曽） ・小児の新型コロナウイルス感染者の受入体制の継続、増設した感染隔離室を活用した感染防止対策の徹底及び検査体制の維持（こども） ・基礎疾患のある5歳から11歳の小児への新型コロナウイルスワクチン接種を実施（同上） ・住民への新型コロナウイルスワクチン接種に伴う市町村への支援（各病院）	(指標毎の評価) 機構全体	2	10	6	0	0	B	A	●新型コロナウイルス感染症の対応について、信州医療センターをはじめ5病院とも、令和5年度も引き続き感染者受入れや発熱外来受入れ、検査やワクチン接種など、適切な診療や感染防止対策に貢献した。 ・引き続き多くの新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた。																																	
	【新型コロナウイルス感染症 感染者受入数】 (件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>3,294</td> <td>2,278</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>89</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>48</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>109</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>46</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	3,294		2,278	こころの医療センター-駒ヶ根	89	89	阿南病院	48	50	木曽病院	109	119	こども病院	46	30	【発熱外来受入人数】 (単位：人)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>9,383</td> <td>5,890</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>2,323</td> <td>1,512</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>3,424</td> <td>252</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	9,383	5,890	阿南病院	2,323	1,512	木曽病院	3,424	252				
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																							
	信州医療センター	3,294	2,278																																							
こころの医療センター-駒ヶ根	89	89																																								
阿南病院	48	50																																								
木曽病院	109	119																																								
こども病院	46	30																																								
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																								
信州医療センター	9,383	5,890																																								
阿南病院	2,323	1,512																																								
木曽病院	3,424	252																																								
【検査回数（抗原定性検査）】 (単位：件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>5,665</td> <td>7,352</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>339</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>1,636</td> <td>1,783</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>229</td> <td>2,976</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>20</td> <td>372</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	5,665	7,352	こころの医療センター-駒ヶ根	339	71	阿南病院	1,636	1,783	木曽病院	229	2,976	こども病院	20	372	【ワクチン接種実績（住民）】 (単位：件)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>3,396</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>323</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>4,183</td> <td>2,519</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>18</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>221</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	3,396	799	こころの医療センター-駒ヶ根	323	270	阿南病院	4,183	2,519	木曽病院	18	89	こども病院	221	68
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																								
信州医療センター	5,665	7,352																																								
こころの医療センター-駒ヶ根	339	71																																								
阿南病院	1,636	1,783																																								
木曽病院	229	2,976																																								
こども病院	20	372																																								
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																								
信州医療センター	3,396	799																																								
こころの医療センター-駒ヶ根	323	270																																								
阿南病院	4,183	2,519																																								
木曽病院	18	89																																								
こども病院	221	68																																								
●信州医療センター ・感染症医療の中核病院として、新型コロナウイルス感染者の積極的受入れ等、感染症拡大に対応。また、地域住民を対象とした、院内でのワクチン接種と須坂市のワクチン集団接種会場への医師及び看護師の派遣により、ワクチン接種体制の強化に寄与。	●阿南病院 ・新型コロナウイルス感染者の受入れ及び検査体制を維持した。		●木曽病院 ・発熱外来は令和5年7月より中止、患者の増加に伴い10月より再開。自費での新型コロナウイルス検査は継続																																							

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)						評定	県評価																									
	病院名	S	A	B	C	D																											
<p>イ 精神医療 このころの医療センター駒ヶ根は、県の政策的・先進的な精神医療を担う病院として、次に掲げる医療を提供する。 ・精神科救急医療の常時対応型病院（4地域の輪番病院での対応が困難な場合の受入れを含む。）として、24時間体制の精神科救急・急性期医療を行うとともに、mECT（修正型電気痙攣療法）等の先進的な専門医療を充実する。 ・児童・思春期、青年期の精神疾患の専門医療機能を充実させる。 ・アルコール・薬物・ギャンブル等多様な依存症の専門医療機能の強化や医療従事者等への研修の充実を図るほか、ゲーム・ネット依存症の診療体制を整備する。 ・心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（平成15年法律第110号）に基づく指定入院・指定通院医療機関を運営し、同法の処遇対象者が社会復帰するために必要な医療を行う。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】 ・児童・思春期、青年期までの切れ目のない医療提供のため、子どものこころ総合医療センター（専門病棟新設）、次世代型デイケアの開設に向けた基本設計の策定 ・患者の療養環境の改善とプライバシーの確保、病床利用率の向上による収入の増加と感染対策のため、救急・急性期病棟（B1病棟）の全室個室化に向けた改修工事及び劣化している光庭の改修を実施 ・令和4年度から本格稼働したインターネット・ゲーム依存症の入院・外来治療について、プログラム等の内容を充実・強化 ・令和4年度に開所した精神科訪問看護ステーション「こまほす」の地域クリニック及び行政機関との連携を強化し訪問を拡充 ・令和4年度に機器導入及び治療開始したrTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）を安全に実施するため受入れ体制及び広報を強化し、実施件数を拡大</p>	<p>【こころの医療センター駒ヶ根での取組】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>r-TMS件数(件)</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>m-ECT件数(件)</td> <td>322</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>ウォークイン救急患者数(人)</td> <td>94</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>児童思春期入院患者数(人)</td> <td>61</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ほかの病院での取組】 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>項目</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">こども病院</td> <td>発達障がい専門外来患者数</td> <td>98</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>児童思春期発達外来患者数</td> <td>36</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>						項目	令和4年度実績	令和5年度実績	r-TMS件数(件)	90	100	m-ECT件数(件)	322	293	ウォークイン救急患者数(人)	94	112	児童思春期入院患者数(人)	61	58	病院名	項目	令和4年度実績	令和5年度実績	こども病院	発達障がい専門外来患者数	98	98	児童思春期発達外来患者数	36	71	<p>●こころの医療センター駒ヶ根は先進的な治療法の導入・使用拡大や、多様な依存症への治療法の充実を図るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>・r-TMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）は入院に加え外来へも対象を広げて実施し、件数が増加している。</p> <p>・アルコール・薬物・ギャンブル等の様々な依存症へのプログラムを充実しているほか、インターネット・ゲーム依存症についてもプログラムを充実し対象者を増やすなど、積極的に取り組んでいる。</p>
	項目	令和4年度実績	令和5年度実績																														
	r-TMS件数(件)	90	100																														
	m-ECT件数(件)	322	293																														
ウォークイン救急患者数(人)	94	112																															
児童思春期入院患者数(人)	61	58																															
病院名	項目	令和4年度実績	令和5年度実績																														
こども病院	発達障がい専門外来患者数	98	98																														
	児童思春期発達外来患者数	36	71																														
<p>●こころの医療センター駒ヶ根 ・時間外救急患者177件（R4:169件）、措置入院33件（R4:24件）、ウォークイン救急患者数112人（R4:94人）いずれも前年度よりも増加 ・侵襲性の低い治療法となるrTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）について100件実施（R4:90件）入院治療を基本としていたが、外来治療も試行 ・「子どものこころ総合医療センター」開設について基本設計を策定するとともに、運用面で病棟運営体制を検討 ・アルコール、薬物・ギャンブル等依存症各種プログラムを改編し、多職種でのプログラム運営を実施 ・インターネット・ゲーム依存症の入院・外来治療について、入院5人（R4:3人）、外来4人（R4:5人）に対してプログラムを実施。夏休みの児童・生徒を対象としたプログラムの実施により入院対象者は前年度よりも増加 ・医療観察法ユニット（6床）において、社会復帰に向け入院対象者7人（R4:10人）、通院対象者2人（R4:2人）の治療を実施</p>																																	

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)						県評価																												
	病院名	S	A	B	C	D		評価																											
<p>ウ 高度小児医療、周産期医療</p> <p>こども病院は、県における高度小児医療・総合周産期医療を担う病院として、次に掲げる医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度小児医療の中核病院として診療機能を強化させるとともに、全県の立場で小児重症患者の医療体制を充実する。 ・小児在宅医療の支援体制の充実のほか、信州大学医学部附属病院等と連携した成人移行期患者に対する継続的な医療の充実に取り組む。 ・県の総合周産期母子医療センターとして、県内産科医療機関との連携を図りながら胎児診療を含む周産期医療の維持・向上に努める。 <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに内分泌代謝科を設置し、小児内分泌・代謝疾患の診療を充実 ・こころとからだの診療（摂食障害患者の受入検討含む）の充実を図るため多職種・多診療科のチーム医療により患者及び家族への支援を推進 ・難病診療分野別拠点病院として小児期の難病医療提供体制を強化（令和4年10月に県より指定） ・オプションル新生児スクリーニング検査事業（原発性免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症）の継続と同意率向上の推進（令和4年10月開始） ・重症心身障害児の側弯症手術の継続（令和4年10月開始） ・長野県立総合リハビリテーションセンターとの医療連携体制の構築（高次脳機能障害フォローアップ体制） ・令和4年度に増設した新外来診察室を活用し増加傾向の外来患者や成人移行期患者などの高まる診療ニーズに対応 ・令和4年度に常勤体制となった児童精神科の外来診療やリエゾン体制等の充実、多職種連携・チーム医療の推進を図り、院内外の児童精神科充実のニーズに対応 ※リエゾン体制：身体疾患で入院中の患者が精神心理面での問題を抱えた場合に、担当各科の医師や看護師等が多職種で連携して支援を行う体制 ・小児疾患動向の変化や地域から当院に期待される診療ニーズ等を踏まえて令和4年度に実施した病棟再編成による病床運用の効率化と重点化を推進 ・小児の先制医療の推進（小児がん経験者の晩期合併症早期発見のための検診の充実） ・当院の得意分野を充実させ、最近の小児患者のニーズに対応した診療を推進（例：成育女性科、あたまの形外来） 	<p>【こども病院での取組】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児マススクリーニング検査等の高度検査機器を活用した遺伝子検査件数（件）</td> <td>19,170</td> <td>23,073</td> </tr> <tr> <td>PICU病床稼働率（%）</td> <td>62</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>NICU病床稼働率（%）</td> <td>81</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>MFICU病床稼働率（%）</td> <td>57</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>成人移行期介入患者数（人）</td> <td>414</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>小児がん 長期フォローアップ外来患者数（人）</td> <td>63</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>成育女性外来患者数（人）</td> <td>160</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>周術期術前外来患者数（人）</td> <td>266</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>薬剤師外来実績（持参薬なし面談）（件）</td> <td>597</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>薬剤師外来実績（薬剤鑑別）（件）</td> <td>809</td> <td>1,036</td> </tr> </tbody> </table> <p>●こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度小児医療、周産期医療においては、全県の立場で小児救命救急医療（三次救急）を担うとともに、成人移行期医療支援や医療的ケア児への支援等の拡大するニーズにも対応。 ・令和5年度は新たに内分泌代謝科の開設、こころとからだの診療体制と患者・家族への支援の充実（児童精神科医を常勤2人体制）を行った。 ・新生児期のオプションルスクリーニング検査事業により判明した脊髄性筋萎縮症の患児1人へ早期治療を実施し、早期診断・早期治療の体制を整備。 ・信州大学医学部附属病院との連携による重症心身障害児の側弯症手術を継続。 	項目	令和4年度実績	令和5年度実績	新生児マススクリーニング検査等の高度検査機器を活用した遺伝子検査件数（件）	19,170	23,073	PICU病床稼働率（%）	62	73	NICU病床稼働率（%）	81	78	MFICU病床稼働率（%）	57	55	成人移行期介入患者数（人）	414	434	小児がん 長期フォローアップ外来患者数（人）	63	73	成育女性外来患者数（人）	160	161	周術期術前外来患者数（人）	266	233	薬剤師外来実績（持参薬なし面談）（件）	597	610	薬剤師外来実績（薬剤鑑別）（件）	809	1,036	<p>●こども病院は、県における高度小児医療・周産期医療を担う病院として、高度専門的な検査・治療への積極的な取組に加え、信州大学等との連携により、県内の小児・周産期医療の支援的取組にも引き続き貢献されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児マススクリーニング検査等の検査件数は、令和4年度に比べて大幅に増加している。今後も引き続き取り組まれたい。 ・成人移行期患者や医療的ケア児への支援等については、信州大学等との連携により、こども病院の高度専門的なノウハウを活用した人材育成等に引き続き取り組まれたい。
	項目	令和4年度実績	令和5年度実績																																
	新生児マススクリーニング検査等の高度検査機器を活用した遺伝子検査件数（件）	19,170	23,073																																
	PICU病床稼働率（%）	62	73																																
	NICU病床稼働率（%）	81	78																																
	MFICU病床稼働率（%）	57	55																																
	成人移行期介入患者数（人）	414	434																																
	小児がん 長期フォローアップ外来患者数（人）	63	73																																
	成育女性外来患者数（人）	160	161																																
	周術期術前外来患者数（人）	266	233																																
薬剤師外来実績（持参薬なし面談）（件）	597	610																																	
薬剤師外来実績（薬剤鑑別）（件）	809	1,036																																	

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)						県評価									
	病院名	S	A	B	C	D		評価								
<p>エ がん医療</p> <p>各病院（こころの医療センター駒ヶ根・阿南 病院を除く。）は、質の高いがん医療を提供するため、がん診療連携拠点病院との連携を強化し、がん診療機能の向上に努める。</p> <p>信州医療センターは、内視鏡センターの充実強化を図り、木曽病院は、地域がん診療病院として、がん患者の診療及び相談支援体制の充実に努める。</p> <p>こども病院は、小児がん診療機能の向上を図るとともに、小児がん連携病院として、小児がん拠点病院と連携して診療体制の整備に努める。がん拠点病院と連携して診療体制の整備に努める。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピロリ菌専門外来の利用促進と検査の積極的な広報（信州） ・患者会を設置し、地域がん診療病院としての機能の充実（木曽） ・令和4年度に新設した小児がんセンターの活動を推進し、院内の小児がん診療体制の整備・強化を図るとともに、日本小児血液がん学会の認定研修施設として信州大学医学部附属病院と連携しながら計画的な人材育成を推進（こども） ・長野県がん診療連携協議会への新規加入及び県内がん診療連携拠点病院との連携体制強化（成人診療科との連携）（同上） ・令和4年度に更新した放射線治療装置（リニアック）を活用し、信州大学医学部附属病院と連携して全県的な小児がん治療体制の充実に努めるとともに、地域医療支援病院として地域医療機関からの紹介による成人がん患者を対象とした放射線治療を拡充（同上） ・がん患者への適正な生殖医療の提供や就学・就労支援の実施（同上） 	<p>【内視鏡検査件数】 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>6,836</td> <td>8,000</td> <td>6,959</td> </tr> </tbody> </table> <p>【対策型胃内視鏡検診受託件数】 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>452</td> <td>394</td> </tr> </tbody> </table> <p>●信州医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須高地域の市町村がん検診事業における対策型胃内視鏡検診の受託継続 	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	信州医療センター	6,836	8,000	6,959	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	452	394	<p>●信州医療センター、木曽病院、こども病院は、各地域・県内での役割のもと、診療や相談支援の体制の充実に努めている。引き続き、取り組まれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州医療センターの内視鏡検査件数は、令和4年度と比べて増加したものの、計画は下回った。 ・信州医療センターの対策型内視鏡検診受託件数は、令和4年度と比べて減少した。引き続き取り組まれない。
	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績												
	信州医療センター	6,836	8,000	6,959												
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績														
信州医療センター	452	394														
<p>【がん相談支援センターにおけるがん相談件数】 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木曽病院</td> <td>2,064</td> <td>2,092</td> </tr> </tbody> </table> <p>●木曽病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん患者会「マネッティア」を設立。また、定期的なサロン・勉強会を開催。今年度から外部のピアサポーターを活用する等、がん診療機能体制を充実。 	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	木曽病院	2,064	2,092	<p>・がん相談支援センターにおける相談件数が増加している。引き続き取り組まれない。</p>									
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績														
木曽病院	2,064	2,092														
<p>●こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん医療においては、県の小児がん連携病院として、令和5年4月から長野県がん診療連携協議会に加入し、成人診療科と連携したがん医療提供体制を強化した。 	<p>●こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学等と連携して、全県的な小児がん治療体制の充実に努めたい。 ・計画にあるとおり、リニアックの活用により、全県的な小児がん治療体制の充実や、成人がん患者を対象とした放射線治療に、引き続き取り組まれない。 															

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							評定	県評価		
	病院名	S	A	B	C	D	評定				
<p>細項目1-1-3 災害医療等の提供</p> <p>長野県地域防災計画に基づく県立病院の役割を果たすため、木曽病院は災害拠点病院及びDMAT（災害派遣医療チーム）指定病院として、こころの医療センター駒ヶ根はDPAT（災害派遣精神医療チーム）先遣隊登録病院として、適時適切な医療活動を行う。</p> <p>他の県立病院においては、関係機関からの要請に応じた職員の派遣や患者の受け入れ等、適切に対応する。</p> <p>各病院は、災害発生時において必要な医療を確実に提供するため、電子カルテデータのバックアップのほか、災害時における医療提供体制を整備する。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <p>・災害時におけるDMAT（木曽）・DPAT（駒ヶ根）等による適時適切な医療活動</p>	(指標毎の評価)	機構全体	2	2	1	0	1	B	A	<p>●木曽病院とこころの医療センター駒ヶ根は、平時からの人員確保、訓練実施により災害時の医療提供体制を整備した。</p> <p>・令和6年能登半島地震の災害対応として、それぞれDMATとDPATを派遣し、災害時における医療提供に貢献した。</p>	
	【DMAT隊員数】 (木曽病院) (人)				【DPAT隊員数】 (こころの医療センター駒ヶ根) (人)						
	職種	令和4年度実績	令和5年度実績	職種	令和4年度実績	令和5年度実績					
	医師	2	2	医師	3	3					
	看護師	12	11	看護師	9	5					
	医療技術職	4	5	医療技術職	8	3					
	事務	3	3	事務	0	1					
	【訓練等実施状況】 (木曽病院) (人)				【訓練等実施状況】 (こころの医療センター駒ヶ根) (人)						
	職種	令和4年度実績	令和5年度実績	項目	令和4年度実績	令和5年度実績					
	国・県・市町村・消防機関主催の現地訓練	7	7	国・県・市町村・消防機関主催の現地訓練	1	1					
技能維持研修	1	2	技能維持研修	1	0						
院内訓練	3	3	合計	2	1						
合計	11	12									
【DMAT派遣件数】 (単位:件)				【DPAT派遣件数】 (単位:件)							
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績						
木曽病院	0	1	こころの医療センター駒ヶ根	0	1						
<p>●駒ヶ根 ・「令和6年能登半島地震」の災害対応としてDPATを派遣（派遣人数5人、活動日数5日）</p> <p>●木曽 ・災害拠点病院及びDMAT指定病院として、適時適切な医療活動を行う体制を維持。6年1月発災の能登半島地震にDMAT隊員6人を出動させ被災地にて災害医療に従事。</p>											
<p>●信州医療センター</p> <p>・全職員及び委託業者を対象とした非常招集及び伝達訓練（夜間想定）を実施するなど、災害発生に備えた訓練・各種研修を実施。</p>											
<p>●阿南病院</p> <p>・各種災害関連マニュアルの見直し及び職員研修を実施した。</p>											
<p>●こども病院</p> <p>・災害時医療体制を整備するため、大規模災害訓練を実施。また、二次災害等による電子カルテシステムダウン時に使用するBCP専用端末による通信確認を毎月月初に実施し有事に備えている。</p>											

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価							
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定							
細項目1-1-4 認知症の専門医療の提供 こころの医療センター駒ヶ根は、認知症疾患医療センターにおいて、地元市町村、関係機関等と連携し、認知症に関する専門医療・専門相談を提供する。 阿南病院及び木曽病院は、認知症に対する医療需要へ対応するため、診療及び患者や家族の相談・支援体制を充実する。 【令和5年度に推進する事項】 ・認知症疾患医療センターとして、認知症初期集中支援事業への参画を拡大（駒ヶ根） ・院内デイサービスの対応時間や内容等の充実を図り、入院生活の質を向上（阿南） ・認知症疾患医療センター（連携型）として、認知症医療を充実（木曽） ・認知症ケアチームとの連携した療養型病棟での院内デイの充実（同上）	(指標毎の評価)	機構全体	2	4	2	1	0	B	B	●各病院は引き続き、認知症の医療需要に対応していただきたい。 ・専門医療相談件数は、こころの医療センター駒ヶ根、木曽病院ともに、令和4年度と比べて大幅に増加している。引き続き取り組まれない。					
	【専門医療相談件数】（こころの医療センター駒ヶ根）（件）		【専門医療相談件数】（木曽病院）（件）												
	項目	令和4年度実績	令和5年度実績	項目	令和4年度実績	令和5年度実績									
	電話	753	1,358	電話	30	47									
	面談	488	752	面談	2	14									
●駒ヶ根 ・認知症疾患医療センターの相談体制を充実させたことにより、専門医療相談件数が前年度よりも大きく増加 【相談業務（院外）】 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>阿南病院</td> <td>118</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table>										病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	阿南病院	118	93
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績													
阿南病院	118	93													
●こころの医療センター駒ヶ根 ・認知症地域包括ケア等を推進するため、「認知症疾患医療センター研修会」をハイブリッドで開催（136人参加）															
●阿南病院 ・院内デイサービスの対応時間や内容等の充実を図り、入院生活の質を維持した。															
●木曽病院 ・専門医療相談61件、物忘れ外来727件対応。地域住民を対象に認知症フォーラムを開催。															
細項目1-1-5 介護サービスの提供 阿南介護老人保健施設、木曽介護老人保健施設は、在宅復帰に重点を置いたサービスを提供する。 阿南病院は、訪問看護ステーションの運営を行い在宅医療・介護サービスを提供する。 木曽病院は、介護医療院の運営を行い介護ニーズに適切に対応する。 【令和5年度に推進する事項】 ・訪問看護ステーション事業所への移行に向けた検討（信州・木曽） ・関係機関と連携し、介護ニーズに対応した訪問看護ステーションの安定的な運営（阿南） ・地域及び利用者家族のニーズに応え、利用者確保し介護老人保健施設の経営を安定化（阿南・木曽）	(指標毎の評価)	機構全体	0	0	4	0	0	B	B	●阿南介護老人保健施設、木曽介護老人保健施設は、訪問看護ステーション等も活用しながら、引き続き在宅復帰に重点を置いた取組を続けられたい。 ・入所者数（利用者数）、通所者数は、阿南介護老人保健施設、木曽介護老人保健施設ともに令和4年度に比べて減少している。 ・引き続き、各種加算の算定を積極的に実施されたい。					
	【介護老人保健施設利用実績】（阿南老健）		【介護老人保健施設利用実績】（木曽老健）												
	項目	令和4年度実績	令和5年度実績	項目	令和4年度実績	令和5年度実績									
	入所者数（人）	14,322	12,681	利用者数（人）	15,684	15,326									
	通所者数（人）	679	441	通所者数（人）	102	86									
在宅超強化型加算件数（件）	14,322	12,681	在宅超強化型加算件数（件）	15,684	15,326										
通所リハマネジメント加算算定件数（件）	93	88	科学的介護推進体制加算算定件数（件）	28	31										
科学的介護推進体制加算算定件数（件）	416	445													
【訪問看護ステーション利用実績（利用者数）】（人）		【介護医療院利用実績（患者数）】（人）													
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績										
阿南病院	2,533	2,167	木曽病院	5,889	5,212										

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価	
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定	
(1-1-5 続き)	<p>●阿南病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、計画した活動ができなかったが、レクリエーションを充実させることで利用者のニーズに対応した。 ・当院による運営4年目となる訪問看護ステーションさくらの安定的な運営に努め、下伊那南部地域の在宅看護の体制を維持 ・在宅復帰率の向上や在宅訪問を進め、基本サービスの施設基準について、「在宅超強化型」の単位数を算定 ・科学的介護推進システム（LIFE）へのデータ提出により、「栄養マネジメント強化加算」「通所リハマネジメント加算」「科学的介護推進体制加算」を算定 ・老健でのターミナルケア加算の算定方法を整備し、老健内で看取りを開始 								—
	<p>●木曾病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老健は超強化型を維持。介護医療院では他職種との連携強化によりニーズに応じた生活支援を実施。また、訪問看護ステーション開設に向け検討し、6年6月の開設が決定。 								—

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価	
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価	
小項目1-2 地域連携の推進	(指標毎の評価) 機構全体	7	9	7	1	1	B	B	
細項目1-2-1 地域医療構想への対応 各病院（こころの医療センター駒ヶ根及びこども病院を除く。）は、地域医療構想を踏まえ、地域医療構想調整会議における議論を通じて、地域における医療連携体制の強化について検討し、県立病院としての役割・使命を果たす。 【令和5年度に推進する事項】 ・地域医療構想の実現に向けた公立病院経営強化ガイドラインへの対応（本部）	(指標毎の評価) 機構全体	※指標なし					B	B	●地域医療構想調整会議等を通じて、各地域の医療提供体制における県立病院としての役割を果たした。
	●信州医療センター ・地域医療構想調整会議を年3回実施し、具体的な今後の方針を決定した。 具体的な今後の当院の方針は、以下のとおり。 ①長野医療圏において急性期病院が多く存在する中、当院は、一般急性期医療を主軸に回復機能も保有することで、求められる役割を果たす。 ②救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療に関しては、一部の疾患の三次救急にも対応する。 ③産科医療の提供については、引き続き継続し、在宅医療については、須高地域の在宅医療・看護などの需要に対応する。 ④感染症センターを活用し、長野県内の感染症対策の中核病院としての位置づけを図る。 なお、コロナ陽性者対応に係る国の方針、病棟運営の効率化の観点から、2023年10月からコロナ専用病棟（49床）を休止。必要な機能、病床数については、新規の医療ニーズに応じ、対応していく。								
	●阿南病院 ・地域における保健・医療・福祉を一体的に推進するための、地域・在宅・施設と対象を区分した「地域医療福祉連携会議」を定期的に開催し、地域の関係機関と協働できる体制を構築した。								—
	●木曾病院 ・5年9月、6年3月に地域医療構想調整会議に出席し、木曾医療圏に必要な医療供給体制について検討を実施。								—
	●こども病院 ・R5.9月、R5.12月、R6.3月に松本圏域地域医療構想調整会議に出席し、松本医療圏に必要な医療供給体制について検討を実施。 ・当院は、全県を対象とした高度小児医療の中核病院（小児救命救急医療の三次救急含む）及び県の総合周産期母子医療センターであるため、松本医療圏内だけでなく、二次医療圏を超えた小児周産期医療の提供体制について、引き続き、公立病院経営協化ガイドライン及び地域医療構想の動向を踏まえて、関係医療機関との連携協化と機能分化を図る。								—

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価		
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定	●地域における各病院の立ち位置に応じた地域包括ケアシステムの役割を果たした。 ・紹介率、逆紹介率は5病院中4病院で目標（計画値）を上回っている。	
<p>細項目1-2-2 地域包括ケアシステムの推進 各病院は、地域の実情に応じた医療・介護ニーズに適切に対応するため、関係機関等と連携し、在宅医療に積極的に取り組むとともに、地域における各病院の立ち位置に応じて地域包括ケアシステムにおける役割を果たす。 こころの医療センター駒ヶ根は、精神障がい者の地域生活を支援する体制を強化し、こども病院は、小児の訪問診療を充実する。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】 ・令和4年度に開所した精神科訪問看護ステーション「こまほす」の地域クリニック及び行政機関との連携を強化し訪問を拡充（駒ヶ根）再掲 ・退院後の再発や再入院防止を目的とし、多職種チームで適切な治療と評価を行い、入院時から退院後までの支援を図る「包括的支援マネジメント」を構築（同上） ・リソースナース（認定看護師、特定行為研修修了看護師等）の介護施設への派遣や訪問看護への従事など、高い専門性を活かした積極的な地域支援を実施（阿南） ・在宅療養支援病院としての機能の充実（木曾） ・施設訪問、地域連携会議を実施して関係施設との連携を強化（同上） ・研修会の実施等、入退院支援スタッフの育成を推進（同上） ・訪問看護での特定行為看護師の活用の連携と認定看護師による院外研修の支援（同上） ・病院将来構想の確立に向けて、少子化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響、小児疾患動向の変化に対応するとともに、令和5年2月に開催した病院将来構想座談会での患者・家族及び関係機関（医療・行政・教育等）からの意見を踏まえた検討を実施（こども） ・訪問診療センター・訪問ケア科による小児の訪問診療を充実（同上）</p>	（指標毎の評価）	機構全体	4	5	4	I	0	B		B
	【紹介率】		（単位：％）			【逆紹介率】		（単位：％）		
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績				
	信州医療センター	28.0	34.3	信州医療センター	26.0	33.8				
	こころの医療センター駒ヶ根	40.0	44.0	こころの医療センター駒ヶ根	30.0	39.0				
	阿南病院	23.8	21.5	阿南病院	20.7	18.1				
	木曾病院	16.0	19.5	木曾病院	26.0	26.5				
	こども病院	75.0	77.1	こども病院	80.0	99.9				
	【地域包括ケア病床稼働率】		（単位：％）							
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績							
信州医療センター	43.3	8.2								
阿南病院	68.1	69.3								
木曾病院	54.7	52.4								
<p>●信州 ・地域包括ケア病棟は休止中であるが、地域病院が地域包括ケア病床の役割を担当。地域の慢性期病院と連携を深めたことで、地域の実情に応じた医療・介護に関するニーズに適切に対応。</p> <p>●信州医療センター ・地域の医療機関と関係性を深めるため、第1回地域医療連携交流会を開催。</p> <p>●こころの医療センター駒ヶ根 ・精神障がい者の退院後の地域定着を見据えて、入院時から多職種チームで支援を行う「包括的支援マネジメント」を導入。上半期にモデルケース13件、下半期に本格導入し21件実施 ・利用者の再入院防止及び新規利用者確保に向け、地域クリニックとの連携を強化するため、近隣医療機関への訪問を実施</p> <p>●阿南病院 ・リソースナースによる出前講座や、院外者も参加する会議におけるミニ講座の実施など、各専門分野の情報提供を行った。</p> <p>●木曾病院 ・病院地域連携会議を年3回開催し、地域の関連機関との情報共有を実施。また、在宅医療介護連携センターと退院支援チーム会の合同会議を開催。 ・在宅療養支援病院として24時間往診（医師）と訪問看護の体制を確保し、緊急時の迅速な対応を維持</p> <p>●こども病院 ・医療的ケアが必要な在宅患者に対しては、訪問診療センターを中心に訪問診療と訪問リハビリテーションを提供し、地域の中核病院や開業医等と連携して小児在宅ケアを推進した。（訪問診療・リハビリ件数：74件、対前年23件増加） ・長野県唯一のこども専門の病院として、一般の医療機関では対応困難な高度小児医療の中核病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担っている。</p>										

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価			
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定			
<p>細項目1-2-3 地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進 各病院は、市町村、保健福祉事務所、児童相談所等の関係機関やNPO等と連携し、児童虐待への対応や発達障がい児、医療的ケア児への支援等に取り組む。</p> <p>また、市町村等が行う健康増進施策と連携した疾病予防及び母子保健、地域のニーズに応じた健康寿命の延伸に資する取組や地域の福祉関係機関等が行う退院後の支援等に対し、積極的に協力する。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心不全、糖尿病、フレイル等に対する地域連携ケアシステムの構築に向け、多職種による予防的リハビリテーションを実施（信州） 市町村と連携し対策型胃内視鏡検診・大腸内視鏡検診の啓発の実施（同上） 児童相談所・要保護児童対策地域協議会等と連携し、児童虐待や自殺企図児童などの緊急入院に対応（駒ヶ根） 地域における保健、医療、福祉を一体的に推進するため、高齢者施設等との地域医療福祉連携会議を四半期ごとに開催（阿南） 市町村保健師、児童相談所等関係機関と連携を図り、周産期母子保健・児童虐待・発達障がい児への対応を実施（木曽） 木曽保健福祉事務所と共催で発達障がい支援者向けの研修会の開催（同上） 市町村保健師、精神科専門医療機関と連携を図り、自殺未遂者等へ再自殺企図防止支援を検討（木曽） 信州母子保健推進センターとの連携による保健師、助産師の研修を実施（こども） 	(指標毎の評価)	機構全体	3	4	2	0	1	B	B	●市町村等関係機関との連携を推進した。	
	【内視鏡検査件数】 (単位:件)										
	病院名		令和5年度目標	令和5年度実績							
	信州医療センター		8,000	6,959							
	【公開講座の実施回数】 (単位:回)							【市町村事業への参画に係るもの】 (行政機関の委員会、協議会等へ参画している件数) (件)			
	病院名		令和4年度実績	令和5年度実績		病院名		令和4年度実績	令和5年度実績		
	信州医療センター		18	24		信州医療センター					
	こころの医療センター駒ヶ根		4	4		こころの医療センター駒ヶ根		9	9		
	阿南病院		8	16		阿南病院		3	4		
	木曽病院		43	38		木曽病院		49	49		
こども病院		2	1		こども病院		2	2			
●信州医療センター							●阿南病院				
<ul style="list-style-type: none"> 院内ACPT(院内虐待対応委員会)で情報共有、院内の対応について決定し、市町村、保健福祉事務所、児童相談所等の関係機関と連携して対応。また、外部の支援者会議にも出席し情報を共有。 産後うつ予防、子どもへの虐待防止として、須坂市の保健師と当院の職員が連携し、妊娠から産後まで切れ目のない支援を実施。須坂市、小布施町、高山村、長野市から産後ケア事業を受託し、産後に家族の援助が受けられない者や育児に不安がある者を対象として、授乳相談や新生児の一時預かりを行った。 							<ul style="list-style-type: none"> 小児発達障害診療のための専門リハビリスタッフの早期確保・要請により、効果的な医療を提供した。 下伊那南部地域の社会福祉施設と当院とで構成する「地域医療福祉連携会議」を開催し、入所施設の当院に対するニーズや施設の問題点、課題の把握に努めるとともに、施設へのリソースナース(認定看護師、特定看護師)の派遣を継続 				
●こころの医療センター駒ヶ根							●木曽病院				
<ul style="list-style-type: none"> 児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、自殺企図児童や児童虐待、摂食障害などの緊急入院13人に対応 							<ul style="list-style-type: none"> 市町村と共催で、発達障害の支援会議の開催と、研修にも参加。母子保健に関して、産前～産後まで切れ目のない介入を実施。 				
●こども病院							●こども病院				
<ul style="list-style-type: none"> 療育支援において、当院の役割への理解、転院・退院後の連携について、地域基幹病院及び入所施設との情報交換を行い病院間連携を進めた。 発達障害専門外来により、全県から診療依頼を受け入れ、地域での診療水準の向上と病院近隣地域の保健・福祉機関との連携を強化。 地域医療機関の職員を対象とした、医療・福祉・教育機関等との連携のための患者支援・地域連携会の実施を推進。 信州母子保健推進センターとの連携による保健師、助産師向けの研修会を開催し支援を推進。 							<ul style="list-style-type: none"> 中学校BLS講習会を開催し、地域の中学生へ一次救命措置の教育を実施している。 				

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価		
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価		
小項目1-3 医療従事者の養成と専門性の向上	(指標毎の評価) 機構全体	6	6	7	I	I	B	B		
細項目1-3-1 県内医療に貢献する医師の確保・養成 各病院は、特色を活かした臨床研修プログラムやシミュレーション教育を充実させ、研修指導体制を強化するとともに、積極的な広報活動と県立病院間の指導医連携を推進し、医学生、初期臨床研修医及び専攻医の受入れと育成を行う。 信州医療センターは、信州大学医学部寄附講座と連携し、総合内科専門医の養成に取り組み、こころの医療センター駒ヶ根は、児童精神科医の育成に努める。 本部研修センターは、信州医師確保総合支援センター分室として、県との連携を強化し、医療職を目指す地域の中高校生、医学生や医師を対象とした研修を充実する。 【令和5年度に推進する事項】 ・信州大学医学部との寄附講座と連携した総合内科専門医の育成プログラムの策定及び専門研修医の受入れ(信州) ・新専門医制度に対応したプログラムにより総合診療医の養成と定着を支援(同上) ・初期研修医制度の精神科必須化により、増加する初期研修医の受入れ対応(駒ヶ根) ・子どものこころ専門医研修施設群による小児科及び精神科双方を基盤領域とする子どものこころ専門医の養成(同上) ・信州大学との連携大学院教育等により職員の研究活動を推進し、専門性の高い医師等を養成(駒ヶ根・こども) ・海外の大学病院、小児病院等との医療専門者の交流と医学教育セミナー及び共同研究プロジェクトの推進により、次世代小児医療を担う医療人材を育成(こども) ・医学生や初期臨床研修医等を対象としたシミュレーション教育の充実(研修セ) ・医師確保推進のための医学生対象長野県立5病院Jointセミナーの開催(同上)	(指標毎の評価) 機構全体	0	2	0	0	0	A	A	●各病院とも学生や研修医の受入れ、信大との連携大学院、シミュレーション教育の実施等、医師養成の取組を推進した。 引き続き取り組まれない。 ・専攻医採用に向けたオンライン病院見学会や県立5病院Jointセミナーの医師確保に向けた取り組みも、引き続き積極的に行われた。	
	—									
	●信州医療センター ・令和3年度開設した総合内科医育成学講座(寄附講座)に関する協定により、信州大学から担当教員(内科系)2人の配置を受け、研修プログラム作成と専門医確保の準備に着手。									
	●こころの医療センター駒ヶ根 ・信州大学の医学生を受入れ(5人) ・初期研修医制度の精神科必須化に伴い、県内の総合病院から研修医を受入れ(14人) ・子どものこころ専門医制度における専攻医を採用し育成(1人) ・信州大学との連携大学院教育により勤務医の博士号取得に係る臨床研究を実施									—
	●阿南病院 ・医学生1人(信州大学)及び初期研修医10人(信州医療センター、飯田市立病院)を受入れた。									—
	●木曽病院 ・信州大学及び自治医科大学医学生の研修の受入れ並びに臨床研修医に対する地域医療研修の受入れを行い、医師の養成に貢献。									—
	●こども病院 ・信州医療センターならびに県内外の初期研修基幹病院と連携し、初期研修医の受け入れを積極的に実施。 ・医学生教育に関して、信州大学の実習病院として各診療科での学生教育受入を推進。 ・海外の大学病院、小児病院等との医療専門職の交流と医学教育セミナー及び共同研究プロジェクトの推進により、次世代小児医療を担う医療人材を育成。 ・専攻医採用に向けたオンライン病院見学会等の実施、専攻医教育の充実。									—
	●本部研修センター ・信州医療センターの医学生及び初期研修医に対しシミュレーション教育を実施した。また、医学生対象長野県立病院機構5病院Jointセミナーを信州大学で開催した。									—

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							評定	県評価	
	病院名	S	A	B	C	D	評定			
細項目1-3-2 機構職員の養成 病院機構は、全職員を対象とした研修体系の評価と見直しを継続的に行い、研修の充実を図ることにより、職員の知識、技術、資質の向上を図る。 また、医師、看護師、医療技術職員等の認定資格の取得を推進する。 信州医療センターは、機構本部と連携し、指定研修機関として特定行為ができる看護師の養成を進める。 【令和5年度に推進する事項】 ・看護師、薬剤師を中心とした病院間の交流研修を推進（本部） ・指定研修機関として特定行為ができる看護師の養成及び特定行為研修内容と修了後の活用の検討（信州） ・シミュレーション教育指導者委員会による指導者連携と教育の充実（研修セ） ・全職員を対象とした研修の充実（同上） ・新規採用職員等の体験研修の充実（同上）	(指標毎の評価)	機構全体	4	1	2	0	0	A	A	●研修実施や認定資格の取得促進により、機構職員の養成に取り組んだ。 引き続き努められたい。
	【内部の研修実施】(本部研修センター) 回数(回)						人数(人)			
	項目	令和4年度実績	令和5年度実績	項目	令和4年度実績	令和5年度実績				
	課程別研修	9	9	課程別研修	366	353				
選択研修	5	5	選択研修	183	185					
専門研修	12	13	専門研修	291	301					
●信州 ・研修センターと連携し、医師・研修医・医学生・看護師等を対象にシミュレータを活用した技術研修を実施。また、院内の各委員会等の企画による研修会を計画し、順次実施。 ●本部研修センター ・課程別・選択・専門研修を集合研修とオンライン研修を組み合わせ実施し、延べ839人が受講した。										
【研修受講受入人数(外部機関からの医療従事者研修)】(人)				【看護師特定行為研修修了者数(内部人数)】(人)						・信州医療センターは、特定行為研修により特定行為看護師の養成を進めた。
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績					
こころの医療センター-駒ヶ根	15	24	信州医療センター	6	9					
こども病院	24	22	阿南病院	1	2					
			木曾病院	3	4					
			こども病院	1	0					
【認定・専門看護師数】(単位:人)				【認定看護管理者数】(単位:人)						-
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績					
信州医療センター	11	11	信州医療センター	1	0					
こころの医療センター-駒ヶ根	6	6	こころの医療センター-駒ヶ根	0	1					
阿南病院	2	2	阿南病院		1					
木曾病院	7	10	木曾病院	1	2					
こども病院	0	0	こども病院	0	0					
●信州 ・研修センターと連携し、医師・研修医・医学生・看護師等を対象にシミュレータを活用した技術研修を実施。また、院内の各委員会等の企画による研修会を計画し、順次実施。 ・9月に第3期看護師特定行為研修修了(合計12人、当院4人)、10月に第4期看護師特定行為研修開講(合計7人、当院3人)。 ●駒ヶ根 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベルを2人、セカンドレベルを1人受講 ●阿南 ・看護部教育体制の見直しを行い、地域在宅看護を強化した基礎Ⅰ~Ⅲ(新卒~3年目)への継続教育の充実に取り組んだ。また、1人が特定行為看護師研修を修了した。 ●木曾 ・認定看護師1人、特定行為看護師1人修了。また、医療技術部職員の厚生労働省告示研修を推奨。 ●こども病院 ・各専門医制度における単位申請が可能な日本専門医機構認定共通講習会(医療倫理)を企画・開催した。医師32人が参加し、講師を含む22人に受講証を発行した。 ・看護部では、医療安全管理者研修2人、認定看護管理者教育課程ファーストレベル2人、セカンドレベル2人、サードレベル2人が受講したほか、特定行為研修として創傷管理関連1人、感染管理1人、集中ケア認定1人が受講した。 その他の部署でもMRI安全性講習会、保健師研修、広報基礎講座、保守点検に係る技術研修、安全運転管理者、DPC制度初心者向けオンラインセミナーなど様々な研修に参加し、研修の充実を図っている。										
●こども病院 ・各専門医制度における単位申請が可能な日本専門医機構認定共通講習会(医療倫理)を企画・開催した。医師32人が参加し、講師を含む22人に受講証を発行した。 ・看護部では、医療安全管理者研修2人、認定看護管理者教育課程ファーストレベル2人、セカンドレベル2人、サードレベル2人が受講したほか、特定行為研修として創傷管理関連1人、感染管理1人、集中ケア認定1人が受講した。 その他の部署でもMRI安全性講習会、保健師研修、広報基礎講座、保守点検に係る技術研修、安全運転管理者、DPC制度初心者向けオンラインセミナーなど様々な研修に参加し、研修の充実を図っている。										-

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価		
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定	県評価	
<p>細項目1-3-3 県内医療技術者の技術水準の向上への貢献 本部研修センターは、外部の医療機関等と連携し、シミュレーション教育を活かした研修会、講師派遣等を実施するとともに、同センター木曾分室・こども分室における研修の更なる充実を図り、県内医療従事者の技術水準の向上に向けて取り組む。</p> <p>各病院は、医療従事者の育成に資するため、医療関係職種の各養成所からの要請に基づき職員を講師として派遣するとともに、学生の実習受入れ等を積極的に行う。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】 ・県内の医療従事者を対象とした感染症センター（信州）、精神科研修・研究センター（駒ヶ根）、小児・周産期薬物療法（こども）等における研修の実施 ・機構外の看護師を対象とした特定行為研修の実施（信州） ・地域における薬剤師業務の質の向上を目的に、機構外の薬剤師を対象とした「在宅TPN調製に関する研修」の実施（同上） ※在宅TPN調製：在宅でTPN（中心静脈栄養法）を受ける患者用に無菌調製すること。 ・長野県医療従事者シミュレーション教育指導者研究会の発表会の充実（研修セ） ・機構外の医療機関等も対象としたシミュレーション研修の実施（同上） ・機構外の医療機関等も含むスキルスラボ、シミュレータの利用促進（同上）</p>	(指標毎の評価)	機構全体	2	2	4	0	0	B		B
	【スキルスラボ使用実績】		【シミュレータ使用実績】							
	項目名	令和4年度実績	令和5年度実績	項目名	令和4年度実績	令和5年度実績				
	使用回数(回)	428	426	使用回数(回)	285	330				
	利用者数(人)	2,790	2,867	利用者数(人)	2,180	2,119				
	●本部研修センター ・機構外の医療機関等も対象としたシミュレーション研修の実施									
	【医師を含む医療専門職学生の受入実習学生数】									
	(機構外から)		(単位：人)							
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績							
	信州医療センター	174	143							
こころの医療センター駒ヶ根	108	123								
阿南病院	55	49								
木曾病院	12	12								
こども病院	262	502								
●阿南病院 ・阿南高校、飯田短期大学、信州木曾看護専門学校への講師派遣及び実習生の受入れを行った。										
●信州医療センター										
・講師として信州木曾看護専門学校へ2人、長野県須坂看護専門学校へ23人派遣。看護学生等実習指導者養成講習会を看護師2人が受講。										
・看護師のインターンシップは3回実施(35人参加)。看護師病院説明会は6回開催(10人参加)。その他、個別で施設見学(3人参加)。										
・日本感染症学会認定施設として感染症専門医の育成に寄与。また、医療機関内で感染制御に関わる薬剤師の短期研修開始に向けた準備を進めたほか、感染症に関する知識を広めるため、研修会を実施(23回)										
●こころの医療センター駒ヶ根										
・「子どものこころ診療センター公開講座」をハイブリッドで開催(120人参加)										
・「認知症疾患医療センター研修会」をハイブリッドで開催(136人参加)(再掲)										
・病院祭にて子どもの「うつ」に関する公開講座をハイブリッドで開催(108人参加)										
・「長野県依存症研修会」をオンラインで開催(155人参加)										
・県内の医療従事者、一般向けにインターネット・ゲーム依存症をはじめとする出前講座を実施(23回)										
●木曾病院										
・信州木曾看護専門学校への講師派遣を実施。また、高校生医療体験を4年ぶりに開催し、計42人が参加。										
●こども病院										
・医師や看護師等の医療従事者が、県内の大学等に小児、産科他に係る講師として、Webの利用や現地への派遣により講義を行った。										
・診療部、看護部、医療技術部にて、県内の大学や看護学校等から学生実習生の受入を実施。										
●本部研修センター										
・長野県医療従事者シミュレーション教育指導者研究会の発表会を開催し、機構外施設から12人の参加と1演題の発表があった。										

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価		
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定		
細項目1-3-4 信州木曽看護専門学校の運営 信州木曽看護専門学校は、看護基礎教育の質を確保し、県立病院の持つ医療資源を活かして、地域医療、高度・専門医療等に幅広く対応しうる看護人材を、安定的かつ継続的に育成する。 また、看護教員の確保及び資質向上のため、教員の教務主任養成講習会への派遣、放送大学等の受講を推進する。 【令和5年度に推進する事項】 ・改正カリキュラムによる学校運営を着実に実施 ・開校10周年記念行事を契機に学校の認知度向上に努め、入学生の質及び数を確保 ・教務主任養成講習会に職員を派遣し、指導体制を充実	（指標毎の評価） 機構全体	0	1	1	1	0	B	B	●看護師国家試験の合格率100%を維持している。 引き続き取り組まれたい。 ●認知度向上への様々な取組は計画や前年度実績を上回って実施されているが、受験者数、入学者数ともに前年から減少していることから、更なる対策が必要と考えられる。	
		【入学試験の状況】 (単位：人)								
		項目名	令和4年度実績	令和5年度実績						
		受験者数	39	29						
		入学者数	23	19						
		【看護師国家試験の合格率】 (単位：%)								
		項目名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績					
		合格率	100	100	100					
		●信州木曽看護専門学校 ・令和5年度の看護師国家試験では、3年連続で全員合格を達成した。								

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価							
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定							
小項目1-4 医療の質の向上に関すること	(指標毎の評価) 機構全体	14	33	19	4	5	B	B							
細項目1-4-1 より安全で信頼できる医療の提供 各病院は、連携して医療安全対策を推進し、医療安全の標準化と質の向上に努める。 また、院内感染防止のため、県立病院間で情報の共有化を図りながら、発生予防と拡大防止対策を推進する。 【令和5年度に推進する事項】 ・医療安全相互点検の実施及び医療安全管理研修会の開催(本部) ・病院機能評価3rdG ver.3.0の更新による医療の質の更なる向上(木曾)	(指標毎の評価) 機構全体	6	15	10	3	4	B	B	<p>●研修の受講率は向上しており、事故等の件数も概ね改善している。</p> <p>●今後、各指標についてベンチマークを設定し、引き続き、各病院において一層の改善に取り組まれない。</p> <p>・研修会の受講率は向上している。</p>						
【医療安全研修会受講率】 (単位:%)		令和4年度実績		令和5年度実績		【感染対策研修会受講率】 (単位:%)		令和4年度実績		令和5年度実績					
病院名		令和4年度実績		令和5年度実績		病院名		令和4年度実績		令和5年度実績					
信州医療センター		88.5		84.5		信州医療センター		94.0		90.0					
こころの医療センター-駒ヶ根		100.0		100.0		こころの医療センター-駒ヶ根		65.1		94.1					
阿南病院		72.0		65.0		阿南病院		76.5		79.2					
木曾病院		100.0		100.0		木曾病院		84.7		97.7					
こども病院		100.0		100.0		こども病院		100.0		100.0					
●本部 ・県立5病院を各病院の医療安全管理者等で点検。再点検項目についてはすべて改善された。 ・医療安全管理研修会の開催。															
【インシデント報告総数に対する0レベル報告比率】(%)				【入院患者の転倒・転落発生率】 (単位:%)											
病院名				令和4年度実績		令和5年度実績		病院名				令和4年度実績		令和5年度実績	
信州医療センター				7.1		4.5		信州医療センター				2.2		3.0	
こころの医療センター-駒ヶ根				10.8		10.6		こころの医療センター-駒ヶ根				2.6		2.6	
阿南病院				3.0		3.0		阿南病院				5.7		7.8	
木曾病院				13.7		12.1		木曾病院				1.9		1.9	
こども病院				8.8		9.0		こども病院				3.3		1.2	
【血液培養2セット実施率】 (単位:%)				【針刺し切創件数】 (単位:件)											
病院名				令和4年度実績		令和5年度実績		病院名				令和4年度実績		令和5年度実績	
信州医療センター				89.8		90.1		信州医療センター				11		11	
こころの医療センター-駒ヶ根				0.0		0.0		こころの医療センター-駒ヶ根				1		0	
阿南病院				98.7		97.5		阿南病院				3		0	
木曾病院				94.3		93.7		木曾病院				5		2	
こども病院				11.9		12.5		こども病院				11		4	
【d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率】(%)				【身体的拘束率】 (単位:%)											
病院名				令和4年度実績		令和5年度実績		病院名				令和4年度実績		令和5年度実績	
信州医療センター				0.05		0.11		信州医療センター				1.22		0.73	
こころの医療センター-駒ヶ根				0.0029		0.0029		こころの医療センター-駒ヶ根				0.13		0.07	
阿南病院				0.20		1.40		阿南病院						0.10	
木曾病院				0.088		0.122		木曾病院						0.067	
こども病院				0.06		0.34									

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価
	病院名	S	A	B	C	D	評定	
(1-4-1 続き)	●信州医療センター ・医療安全チェックシートを活用した院内の自己点検を行うことにより、医療安全対策の向上に努めた。 ・県立病院医療安全管理者会議を毎月オンラインで行い、病院間で医療安全に関する情報を共有。 ・医療安全相互点検チェックリストの見直しを行い、県立病院機構間で医療安全相互点検を実施。当院の内視鏡センター、南5階病棟に外部からの点検が入るのは4年ぶりであり、指摘項目について改善を行った。							—
	●こころの医療センター駒ヶ根 ・医療安全に関わる全職員向けの必須研修会を2回開催 ・院内感染対策に関する合同カンファレンス(木曽病院主催)に多職種が4回参加。県立病院間での情報共有・意見交換を実施 ・5類移行の新型コロナウイルス感染者受入れ対応や感染対策について、木曽病院の感染管理認定看護師が2回訪問。感染症対応に関わる当院職員に指導。							—
	●阿南病院 ・院内感染防止のため、連携病院(こころの医療センター駒ヶ根、木曽病院)との合同カンファレンスを開催し、情報交換を行った。							—
	●木曽病院 ・病院機能評価(3rdGver.3.0)を受審し認定更新となった。一般病院2で6項目、慢性期医療(療養病棟)で2項目S評価となり、前回認定時より高い評価となった。また、機能評価での指摘を踏まえ、感染性廃棄物の取扱い方法の見直しを実施。医療安全ではマニュアル整備を進めた。							—
	●こども病院 ・医療安全対策における令和5年度の強化目標として誤認防止対策活動を推進。6月の医療安全推進強化月間では「誤認防止~場に適した確認方法~」をテーマにした動画講義を全職員が視聴(視聴率100%)。また、機構全体で確認行動の研修を企画、11月には院内で、ナースングスキルを利用した同研修を職員対象に実施(視聴100%)。結果として、患者間違いインシデント数が前年度より減少し目標を達成。 ・院内感染対策においては、医療関連感染サーベイランス活動の継続、地域連携の会議、相互ラウンド、他施設(連携の有無に関わらない医療機関、教育機関、福祉施設)から要請による感染対策研修会(計9回)などを実施。							—

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価					
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定					
<p>細項目1-4-2 医療等サービスの一層の向上</p> <p>各病院は、患者満足度調査により患者及び家族の要望・要求を把握・分析した上で、よりよい患者サービスの提供に努める。</p> <p>また、患者の病院選択に資する臨床評価指標及び医療の質の評価指標の提供や、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実践に向けた検討等、患者サービスの一層の向上に努める。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 番号案内表示システム、自動精算機の導入（信州） 入院患者の利便性向上と看護職員の業務負担軽減のため、入院患者の預り金をキャッシュレス化するICカード管理システムを導入（駒ヶ根） ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に基づくリビングウィル（事前指示書）について、ポスターの院内掲示、パンフレットの設置、患者サポートセンター内の相談窓口の設置等により取組を推進（木曽） 患者サポートセンターの移転改築に合わせて、患者の入院から退院まで、院内外での多職種連携支援の推進（同上） ボランティアの募集に係る仕組み作りと、その受入れによるサービスの向上（同上） 外壁改修工事の実施（同上） 病院総合情報システム更新により同システム全体の最適化（構成及びシステム連携見直し等）を実施（こども） 患児の適性に配慮した就学、就労サポートを推進（同上） 患者の入院前から退院後までを多職種連携で支援する「患者サポートセンター」の取組を推進（業務範囲拡大と入退院支援加算等の増加）（同上） 患者の利便性向上と、院内薬剤師の調剤業務の負担軽減に伴い薬剤管理指導の充実を図るため数地内薬局の誘致に向け具体的方策を検討（同上） 	(指標毎の評価)	機構全体	6	12	8	0	0	B	B	<p>●クリニカルパスや入退院支援などの取組により、患者サービスの向上に努め患者満足度の向上につなげている。</p> <p>今後も取組を継続し、その効果を患者満足度で確認することにより、継続的なサービス向上に取り組まれない。</p> <p>・クリニカルパス適用率は、5病院全てで令和4年度に比べて向上している。引き続き取り組まれない。</p> <p>・入退院支援加算や入院時支援加算の件数は各病院で増加している。</p> <p>・患者満足度は入院・外来ともに令和4年度に比べて5病院中3病院で向上している。引き続き実施し、業務の改善へ活用されたい。</p> <p>・病院間で異なる調査方法を用いており比較や評価が難しいため、機構内で統一した尺度で満足度を測れるよう、検討されたい。</p>			
	【クリニカルパス利用率】 (単位：%)												
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績										
	信州医療センター	37.0	44.1										
	こころの医療センター-駒ヶ根	82.1	83.4										
	阿南病院	6.5	11.9										
	木曽病院	13.4	18.9										
	こども病院	35.7	38.1										
	【入退院支援加算算定件数】 (単位：件)		令和4年度実績		令和5年度実績		【入院時支援加算算定件数】 (単位：件)		令和4年度実績		令和5年度実績		
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績						
信州医療センター	1,337	1,178		信州医療センター	59	64							
こころの医療センター-駒ヶ根				こころの医療センター-駒ヶ根									
阿南病院	169	249		阿南病院									
木曽病院	1,032	1,135		木曽病院	166	205							
こども病院	1,043	1,989		こども病院	78	377							
●こども		<p>・患者サポートセンターの取組推進（入退院支援の介入件数増により加算実績が増加）</p>											
【患者満足度調査結果（入院）】 (単位：%)													
病院名	内容	令和4年度実績	令和5年度実績										
信州医療センター	診療の満足度	88.8	88.5										
こころの医療センター-駒ヶ根	医療スタッフの対応の満足度	84.3	93.2										
阿南病院	診療の満足度	80.0	84.8										
木曽病院	総合評価	77.4	75.0										
こども病院	診療の満足度	89.2	91.1										
【患者満足度調査結果（外来）】 (単位：%)													
病院名	内容	令和4年度実績	令和5年度実績										
信州医療センター	医療に対する満足度	80.2	82.4										
こころの医療センター-駒ヶ根	当院を受診してよかった	96.3	96.9										
阿南病院	医療に対する満足度	77.6	79.0										
木曽病院	総合評価	59.0	52.0										
こども病院	医療に対する満足度	88.2	87.9										
●駒ヶ根		<p>・患者満足度調査を実施。セクションごとに調査結果の考察と今後の対応について検討し、患者満足度の向上・維持への取組を推進</p>											
●こども		<p>・調査結果は各項目の分析や自由記載コメントを参考に各部署で検討し計画を立て満足度の向上に努めている。なお、調査結果は、ホームページへ掲載のほか家族ラウンジ等で閲覧可能とするなど、公開に努めている。</p>											

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価
	病院名	S	A	B	C	D	評定	
(1-4-2 続き)	【退院患者在宅復帰率】 (単位: %)		【再入院率】 (単位: %)					評定 ・今後も、退院患者在宅復帰率や再入院率等の指標を用いて継続的に評価されたい。
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績		
	信州医療センター	93.7	91.9	こころの医療センター-駒ヶ根	17.9	16.4		
	木曽病院	89.1	88.2					
	●駒ヶ根 ・全国自治体病院協議会の医療の質の評価の指標を活用し、3ヶ月以内の再入院防止に向けて全国と比較(再入院率は前年度よりも2ポイント減)							
	●信州医療センター ・令和4年度患者満足度調査の集計・分析結果の報告会を開催し、職員間での情報共有と改善策検討を実施。令和5年度も10月~11月に外来及び入院患者に対しアンケートを実施。 ・サービス向上委員会にて、接遇標語の作成、全職員を対象とした接遇研修(全2回)、いいとこ探しの募集を行い、職員に接遇への意識付けを行った。							
	●こころの医療センター-駒ヶ根 ・精神科病院をより身近に感じて頂くため、病院ホームページのデザイン及びコンテンツのリニューアルを進め開設。 ・入院患者の利便性向上、病棟看護師の業務負担軽減を図るため、「ICカードキャッシュレス管理システム」の運用を開始。							
	●阿南病院 ・患者満足度調査や院内委員会において患者の利便性の向上について検討し、番号での呼び出しや分かりやすい案内表示の掲示等を行った。							
	●木曽病院 ・院内スタッフに向けたACPに関する意識調査の実施。 ・在宅医療・介護連携と看護協会との共催による地域住民・医療、介護職員に向けたACP研修会の実施。							
	●こども病院 ・臨床倫理的検討が必要な事案に関し、院内で共有するとともに自由に話題にできる環境を作り、医療現場での倫理的思考の醸成を図ることを目的とした臨床カンファレンスを令和3年度から継続実施。本年度は3回開催した。							

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																	
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価																	
細項目1-4-3 先端技術の活用 各病院は、訪問診療等における遠隔診療の実施や、電子カルテの相互参照機能等を用いての医療従事者間の情報共有等、医療分野における先端技術の活用により、医療従事者の負担軽減及び業務の効率化を推進するとともに、地域の診療機能の充実を図り医療・介護サービスを提供する。 【令和5年度に推進する事項】 ・オンライン診療導入の検討（信州） ・オンライン診療の実施（阿南） ・発熱外来におけるオンライン問診の活用（同上） ・患者の受診機会増を目的としたオンライン診療の導入検討（木曽） ・RPAを活用した業務の効率化（同上） ・オンライン面会システムの活用（こども） ・オンライン診療及びオンライン産前指導の推進（同上）	(指標毎の評価)	機構全体	2	1	0	0	0	A		A	●オンライン診療等の積極的な導入により、医療従事者の負担軽減や業務の効率化、地域の診療機能の充実に取り組んでいる。引き続き取り組まれない。 ・木曽病院は、令和5年度からへき地巡回や施設診療でのオンライン診療を開始した。また、長野県の病院で初となる電子処方箋の運用を開始した。 ・こども病院は、オンライン診療をオンライン面会システム等を導入している。														
	【情報通信技術を用いた医療・介護サービスの提供、医師負担の軽減に係る取組実績（オンライン診療件数）】(件)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木曽病院</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>12</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	木曽病院	0	17	こども病院	12		219													
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																						
木曽病院	0	17																							
こども病院	12	219																							
●阿南 ・患者及び職員の利便性向上のため、発熱外来におけるオンライン問診システムを更新した。 ●木曽 ・へき地巡回診療や施設診療でのオンライン診療を開始したほか、電子処方箋の運用を開始し、医療の逼迫や受診リスクの軽減ために医療DXを有効的に活用。 ●こども ・令和5年度1月から形成外科で開始したオンライン診療を継続し、県外等遠方からの受診患者の利便性向上を図るとともに情報機器を用いた診療に係る施設基準を維持。（専用の遠隔診療システムを使用） ・面会制限で患児と面会できない家族のためのオンライン面会システム運用を継続。 ・令和5年度10月から開始したオンライン産前保健指導を継続し、動画配信による産前教室を妊婦256人に実施。 ●信州医療センター ・外来の一部診療科でタブレットによるAI問診サポートを活用し、医師、看護師の問診時間の削減、カルテ記載業務の効率化、患者との対話時間の増加及び診療待ち時間短縮による患者満足度の向上を図った。 ●こころの医療センター駒ヶ根 ・入院患者の利便性向上、病棟看護師の業務負担軽減を図るため、「ICカードキャッシュレス管理システム」の運用を開始																									
細項目1-4-4 信州大学等との連携 こころの医療センター駒ヶ根及びこども病院は、信州大学との連携大学院教育等により、職員の研究活動を推進し専門性の高い医師等の養成を行う。 また信州医療センターは、信州大学との寄附講座により総合内科専門医の養成を行う。 【令和5年度に推進する事項】 ・信州大学医学部との寄附講座と連携した総合内科専門医の育成プログラムの策定及び専門研修医の受入れ（信州）再掲 ・「子どもの心の診療ネットワーク事業」による児童精神科医の育成（駒ヶ根・こども） ・連携大学院教育による勤務医の博士号の取得及び職員の研究活動の促進（同上）	(指標毎の評価)	機構全体	0	0	1	1	1	C	B	●信州大学等と連携し、職員の研究活動を推進し、専門性の高い医師の養成に取り組んでいる。引き続き、取り組まれない。															
	【連携大学院に係る実績】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(入学者数)</td> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(セミナー回数)</td> <td>こども病院</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		項目	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	(入学者数)	こころの医療センター駒ヶ根	0		0	こども病院	4	1	(セミナー回数)	こども病院	12	12							
	項目	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																					
(入学者数)	こころの医療センター駒ヶ根	0	0																						
	こども病院	4	1																						
(セミナー回数)	こども病院	12	12																						
●信州医療センター ・令和3年度開設した総合内科医育成学講座(寄附講座)に関する協定により、信州大学から担当教員(内科系)2人の配置を受け、研修プログラム作成と専門医確保の準備に着手(再掲) ●こころの医療センター駒ヶ根 ・信州大学との連携大学院教育により勤務医の博士号取得に係る臨床研究を実施(1人在籍) ●こども病院 ・信州大学との協定に基づく連携大学院教育による職員の研究活動を推進し、専門性の高い医療従事者(医師8人、検査技師1人)を養成。学生数は新規進学者1人を加え合計9人に増加。																									

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																		
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																		
細項目1-4-5 医療に関する研究及び調査の推進 病院機構は、臨床研究を推進して研究機能を向上させ、医療技術・医療水準の向上に努める。 また、病院機構が行っている取組や研究の成果を、テレビや新聞、ホームページ、公開講座等を通じて広報する。 【令和5年度に推進する事項】 ・科研費の活用による研究の促進と最先端医療に対応できる人材の育成（こども） ・医療技術、医療水準の向上に資する「長野県立こども病院医学雑誌」の発行（同上）	(指標毎の評価)	0	5	0	0	0	A	A	●研究調査数が5病院全てで令和4年度に比べて概ね1割増えており、積極的に研究に取り組んでいる。 ●出前講座や広報誌、ホームページ、新聞等への広報等、積極的に情報発信している。																	
	【研究調査に関する倫理申請件数】 (単位:件) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>14</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>98</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	19	22	こころの医療センター駒ヶ根		10	11	阿南病院	6	7	木曽病院	14	16	こども病院	98	105						
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																							
	信州医療センター	19	22																							
	こころの医療センター駒ヶ根	10	11																							
	阿南病院	6	7																							
	木曽病院	14	16																							
こども病院	98	105																								
●信州医療センター ・学会、院内研修会等の活動、医療に関する職員の学術研究や講演会活動実績を病院ホームページにて公開。また、院外広報誌「かがやき」を5月、9月に発行し、須高地域に全戸配布を実施。 ・マスメディアを利用した病院広報・PRにより健康に関する関心を高め、地域の健康増進に寄与。									—																	
●こころの医療センター駒ヶ根 ・出前講座 23回 インターネット・ゲーム依存症 8回 うつストレスケア 5回 PFA（心理的応急処置） 3回 服薬指導、認知症など 7回 ・新聞掲載 7回									—																	
●阿南病院 ・出前講座メニューの充実を図り広報を強化したことで、16回の開催で398人の参加があった（R4は8回開催で136人参加）。									—																	
●木曽病院 ・木曽病院年報に研修・研究の取組み内容及び成果を掲載。また、広報誌やホームページ、SNSなどを用いて広報や情報発信を実施。									—																	
●こども病院 ・科研費の活用による研究の促進と最先端医療に対応できる人材の育成（AMED、厚労科研、文部科研、民間研究資金等の外部資金による9研究課題を実施中） ・医療技術、医療水準の向上に資する「長野県立こども病院医学雑誌」を発行。									—																	

大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

機構の評定 B

県の評定 B

令和5年度計画	指標/法人自己評価	県評価
大項目2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	小項目の自己評価はすべてB評価とした。本大項目の自己評価については、小項目をすべてB評価としたことから、B評価とした。 (今後の課題と方針) 医師の労働時間の短縮など、働き方改革・勤務環境の改善を進めながら、引き続き柔軟な病院経営に努める。	・令和5年4月から病院組織にあわせた人事評価制度を本格導入するなど、業務運営の改善が進められている。 ・職員全体の超過勤務時間が対前年度比で縮減できている病院もあり、更に新しい勤務体制の導入やタスク・シフト/シェアによる医師の勤務環境の改善や各種管理システムの導入等による業務の効率化も図られていることから、年度計画を概ね達成していると認められる。

【今後取り組むべき課題】

- ・引き続き、各病院で実施している院内会議等での議論も踏まえ、組織にふさわしい人事評価制度となるよう見直しや改善を進められたい。
- ・職員給与費対医業収益比率が100%を超えている病院や前年度から大きく増加している病院については、具体的な改善策を検討いただきたい。
- ・超過勤務時間が前年度比で減少した病院と増加した病院に分かれていることから、減少した病院の取組を機構内で共有するなど、改善に向けて検討いただきたい。
- ・職場満足度の水準を高めるよう取り組まれたい。

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																																			
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																																			
小項目2-1 業務運営体制の強化	(指標毎の評価)	機構全体	0	6	10	0	0	B	B	●組織にあわせた人事評価制度を令和5年4月から本格導入した。引き続き、各病院で実施している院内会議等での議論も踏まえ、人事評価制度の見直しや改善を進められたい。 ●職員満足度調査を活用し、職場環境の整備につなげられたい。 ●職員給与対医業収益比率が100%を超える病院や上昇傾向にある病院について、具体的な改善策が必要である。 ●病院管理会計ツールの導入を早期に実現し、経営状況の共有を進められたい。																																	
病院機構は、病院組織に合わせた独自の人事評価制度を本格導入し、円滑な運用を行うとともに、医療環境の変化に柔軟に対応し、医療機能や病院規模に応じた適切な職員配置、処遇見直しを進める等、的確な組織・人事運営を図る。 また、職員満足度調査等を活用し、職員が意欲を持って働くことのできる職場環境の整備に努めるとともに、病院運営に一体的に取り組むため、経営状況や経営改善の取組について情報共有に努める。	【職員給与費対医業収益比率】 (単位：%)	【職員1人あたり医業収益】 (単位：円)	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>61.4</td> <td>64.3</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>110.6</td> <td>111.3</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>101.7</td> <td>108.5</td> </tr> <tr> <td>木曾病院</td> <td>79.5</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>79.9</td> <td>76.1</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	61.4	64.3		こころの医療センター-駒ヶ根	110.6	111.3	阿南病院	101.7	108.5	木曾病院	79.5	85.2	こども病院	79.9	76.1	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>16,192</td> <td>14,480</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>8,932</td> <td>8,715</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>9,912</td> <td>8,992</td> </tr> <tr> <td>木曾病院</td> <td>11,694</td> <td>11,681</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>13,201</td> <td>14,193</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	16,192	14,480	こころの医療センター-駒ヶ根	8,932	8,715	阿南病院	9,912	8,992	木曾病院	11,694	11,681	こども病院	13,201	14,193		
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																								
	信州医療センター	61.4	64.3																																								
こころの医療センター-駒ヶ根	110.6	111.3																																									
阿南病院	101.7	108.5																																									
木曾病院	79.5	85.2																																									
こども病院	79.9	76.1																																									
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																									
信州医療センター	16,192	14,480																																									
こころの医療センター-駒ヶ根	8,932	8,715																																									
阿南病院	9,912	8,992																																									
木曾病院	11,694	11,681																																									
こども病院	13,201	14,193																																									

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価	
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定	
(2-1 続き) 【令和5年度に推進する事項】 ・試行導入している人事評価制度の本導入（本部） ・経営改善のための病院管理会計ツールの導入検討（同上） ・時間当り採算指標等を用いた職員の経営参画を促す仕組みの推進（木曽）	【100床当たりの職員数】 (単位：人)							・職員給与費対医業収益比率については、こころの医療センター駒ヶ根、阿南病院が100%を超えている状況であり、具体的な改善策が必要である。 ・また、この指標において、阿南病院、木曽病院は令和4年度から5%以上上昇しており、具体的な改善策が必要である。 ・こども病院は、5病院中唯一、職員給与費対医業収益比率及び職員一人当たり医業収益が令和4年度に比べて改善している。 ・100床当たりの職員数は、木曽を除く病院で令和4年度に比べて増加しており、一人当たりの負担は軽減されていると考えられる。効率的な経営とのバランスも考慮して取り組まれない。	
	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績						
	信州医療センター	120.1	126.8						
	こころの医療センター-駒ヶ根	114.0	114.7						
	阿南病院	115.2	118.0						
木曽病院	129.4	122.4							
こども病院	233.6	236.7							
	●信州 ・新型コロナウイルス感染症5類への移行に伴い、一般床での新型コロナウイルス感染症患者受け入れに対応するため、適正人員配置試算表にて試算した人員の異動を実施。また、助産師については、病棟と産婦人科外来を一元化した配置に見直した。 ・毎月の運営会議にて、経営状況の分析結果を組織全体で把握するとともに、院長から経営課題を適宜説明し、経営改善への呼び掛けを行った。 ・診療部へ病院の運営方針の共有を行うため、医師部会において、中長期ビジョンや働き方改革等病院の方針を共有し、意見交換を実施した。								
	●駒ヶ根 ・全国からの専攻医を主とする精神科医師確保のため、リニューアルした病院ホームページに加え、新たに医師募集サイトを開設。 ・令和5年度人事評価方針に基づき、各セクションにおいて面談を実施。 ・「組織文化に関する調査」では、全ての項目において前年度よりも改善。 ・経営改善の取組みとして、毎朝のベッドコントロール会議において担当者が月初に前月の患者数を報告するほか、外来と調整し毎日入退院予定後の患者数を報告。 ・地域移行等、在宅復帰に向けて適切な入院期間を確保するため、退院日の決定については、病棟師長が主導する旨を改めて周知。							-	
	●阿南 ・職員のモチベーションアップに向け、経営企画会議において職場環境の改善に関する検討を行い、その多くを実現した。							-	
	●木曽 ・時間当り採算表とBSCを用い、毎月リーダー面談を行い、課題の取組み状況を確認。また、年に2回院長・事務部長面談を実施し、年度計画と課題の共有を実施。 ・各部署年度計画・予算及び人事評価制度と紐づけたBSC（バランス・スコアカード）を策定し、経営改善の確実な目標達成に向けた体制を構築。 ・病院機能評価（3rdVer.3.0）を受審し認定更新となった。一般病院2で6項目、慢性期医療（療養病棟）で2項目S評価となり、前回認定時より高い評価となった。（再掲）							-	

令和5年度計画	指標/法人自己評価(S~Dの個数)							県評価																																					
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																																					
(2-1 続き)	<p>●こども</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価方針に基づいて評価者面談を実施し、人事評価委員会で結果を検証後、調整及び確定。 医師の負担軽減や労働時間又は勤務環境の改善をさらに進めるため、5月に院長直轄の組織として「医師事務支援室」を設置し、室長(副院長)を中心とした体制を強化。 効率的な病床運用を進めるため病棟再編を実施(PICUの12床運用再開、2病棟閉鎖、産科病棟の混合病床化、第4・5病棟ユニット化) 経営状況や経営改善の取組について、経営企画室会議を中心に院内へ情報発信を行い、経営企画室プロジェクトの空床有効活用の取組(院内カレンダー活用)等により、空きベッドや空き手術枠の情報を院内共有し増収に繋がった。 <p>●本部</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行導入している人事評価制度の本導入 改革プロジェクトの立ち上げ 経営改善のための病院管理会計ツールの導入検討 								—																																				
<p>小項目2-2 働き方改革への対応</p> <p>病院機構は、医師の健康確保と地域医療の確保の両立を図りながら、医師の労働時間短縮に向けた取組(ICTの活用、タスク・シフト/シェア、交代制勤務の導入など)を推進するとともに、職員全体の総労働時間の短縮や年次休暇の取得推進等、適正な労働環境の整備に努める。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護業務の見直しによる看護補助者との協働を推進(信州) 看護師特定行為業務管理委員会にて特定看護師の活動を推進(同上) 医師から薬剤師へのタスク・シフト/シェアの推進と非薬剤師との協働による新たな薬剤師業務の展開(同上) 臨床検査技師等に関する法律の一部改正による、新たな業務範囲の追加に対応するため、厚生労働大臣の指定する講習会の受講推進(同上) 	(指標毎の評価)	機構全体	1	9	2	1	2	B	B	<p>●各病院で医師の勤務環境改善のため、新しい勤務体制の導入やタスク・シフト/シェアに向けた取組が行われている。</p> <p>●一方で、超過勤務時間が前年度比で減少した病院と増加した病院に分かれている。効果を上げている病院の取組を機構内で共有されたい。</p>																																			
	<p>【超過勤務時間の実績(職員全体,総時間数)】(時間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>56,063</td> <td>53,032</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>6,959</td> <td>7,964</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>8,420</td> <td>6,673</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>39,256</td> <td>35,719</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>85,457</td> <td>95,393</td> </tr> </tbody> </table> <p>【超過勤務時間の実績(職員全体,一人平均)】(時間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>157</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>45</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>90</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>172</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>129</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table>							病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	56,063	53,032	こころの医療センター-駒ヶ根	6,959	7,964	阿南病院	8,420	6,673	木曽病院	39,256	35,719	こども病院	85,457	95,393	病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	157	147	こころの医療センター-駒ヶ根	45	53	阿南病院	90	61	木曽病院	172	155	こども病院	129	154		<p>・超過勤務時間については、こころの医療センター-駒ヶ根が、看護師以外の職種で令和4年度に比べて増加しており、改善が必要である。</p> <p>・また、阿南病院では、超過勤務時間(総時間数、一人平均)とともに、医師以外の職種で令和4年度に比べて減少しており、改善している。</p> <p>・木曽病院では、超過勤務時間(総時間数、一人平均)が医療技術職以外の職種で前年度に比べて減少しており、改善している。</p> <p>・こども病院では、医療技術職以外の職種で超過勤務時間(総時間数)が増加しており、改善が必要である。</p>
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																											
信州医療センター	56,063	53,032																																											
こころの医療センター-駒ヶ根	6,959	7,964																																											
阿南病院	8,420	6,673																																											
木曽病院	39,256	35,719																																											
こども病院	85,457	95,393																																											
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																											
信州医療センター	157	147																																											
こころの医療センター-駒ヶ根	45	53																																											
阿南病院	90	61																																											
木曽病院	172	155																																											
こども病院	129	154																																											
	<p>●信州</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の働き方改革への対応として、医師の労働時間短縮計画を策定するとともに、医師の自己研鑽に係る規程など各種体制を整備し、特定労務管理対象機関(B水準)として県から令和6年2月に指定 看護師のタスク・シフト/シェアの推進のため、看護補助者活用のための管理者向け研修の受講、看護補助者に対する体験型研修を実施。また、病棟クラークを2人から3人へ増員し、看護師の業務をタスク・シフトした。 臨床検査技師、診療放射線技師及び臨床工学技士へのタスク・シフト/シェアのため、新たな業務範囲を行う際に必要な厚生労働大臣指定講習費用の一部を病院で負担し、受講を推進。(R5受講者:8人、R4からの受講者累計:13人) 薬剤師業務を対人業務にシフトし、医薬品の管理については4月より薬局SPD(院内物流管理)を導入。 																																												

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																								
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価																								
(2-2 続き) ・オンライン問診等デジタル技術を活用した医師 ・看護師の負担軽減の推進(阿南) ・労働時間の把握・分析及び衛生委員会による院内への内容周知(同上) ・「医師労働時間短縮計画」の推進(木曽) ・多様な業務に対応するため、所定労働時間帯の柔軟な運用による時差勤務の推進(同上) ・医師の拘束体制の見直しを検討(同上) ・クリニカルパス委員会によるパスの一層の推進(同上) ・医療技術職によるタスク・シフトの推進(同上) ・医師の働き方改革へ対応するため、宿日直許可の取得及びB水準指定を受ける(評価センターの評価受審)とともに、勤務体制の見直し及び他職種へのタスク・シフトを推進(こども)									—																							
	●駒ヶ根 ・外来クラークを増員(2.5人)し、医師、看護師のタスク・シフティングを推進 ●阿南 ・医師事務作業補助者の業務拡大や、非常勤医師による宿日直業務の継続により、医師の負担軽減を図った。また、職員労働時間を把握・分析、衛生委員会を通じ各セクションへ周知を図ったこと等により、超勤時間が減少した。 ・医師の業務負担軽減を図るため非常勤当直医師を雇用 ・当院から医師を派遣している売木村診療所の診療回数を増やしつつも医師の負担軽減を図るため、オンライン診療を実施(再掲) ●木曽 ・信州大学医学部附属病院医師によるスポット当直を活用し医師の負担を軽減(22回) ・当直明け等の職務専念義務免除制度の取組(延べ25人活用) ・コンサルタントを活用した医師の超過勤務縮減等の働き方改革の推進 ・医師の拘束体制を見直し、医師の負担を軽減 ・特定・認定・診療看護師の育成及び医療技術部の厚生労働省の告示研修受講を推奨(再掲) ・クリニカルパス委員会によるパスの一層の推進 ・臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士へのタスクシフト推進にあたり厚生労働省の告示研修の受講を推奨。(全職員24人のうち14人が修了(58.3%)) ・へき地巡回診療や施設診療でのオンライン診療を開始(再掲) ●こども ・ビーコンを導入した新しい勤怠管理システムの導入(3月から試行、4月から本稼働) ・医師労働時間短縮計画を令和5年6月に策定完了 ・新生児科、小児集中治療科の勤務体制について、月単位の変形労働時間制を導入 ・令和6年3月に宿日直勤務の許可を取得(産科宿直、救急宿日直) ・令和6年3月に長野県から特定労務管理対象機関(B水準)の指定を受けた。 ・医師から他職種へのタスクシフト・シェアの推進に向け、厚生労働大臣指定講習会を臨床検査技師5名、臨床工学技士2名、診療放射線技師2名が受講修了																															
	【医師事務作業補助者1名あたりの病床数】 (床) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>25.0</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>65.0</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>23.3</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>27.3</td> <td>21.7</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>12.5</td> <td>13.5</td> </tr> </tbody> </table>							病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	25.0	25.0	こころの医療センター駒ヶ根	65.0	65.0	阿南病院	23.3	35.0	木曽病院	27.3	21.7	こども病院	12.5	13.5							・医師事務作業補助者1名あたりの病床数は、木曽病院が前年度に比べ約2割と大きく減少(改善)している。
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																														
信州医療センター	25.0	25.0																														
こころの医療センター駒ヶ根	65.0	65.0																														
阿南病院	23.3	35.0																														
木曽病院	27.3	21.7																														
こども病院	12.5	13.5																														
	●こども ・医師事務作業補助者を13人配置し、医師の負担軽減を推進																															

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価				
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定				
<p>小項目2-3 職員の勤務環境の向上</p> <p>病院機構は、業務の見直しや効率化の取組等により労働時間の適正な管理や有給休暇の取得促進を図るほか、仕事と生活の両立に向けた働き方への支援や職員相談体制の強化等により、職員が生活との調和を図りながら、やりがいや充実感をもって働くことのできる職場環境の整備を推進する。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師の業務負担軽減、適正な在庫管理を目的とした医療材料管理システムを導入（駒ヶ根） ・入院患者の利便性向上と看護職員の業務負担軽減のため、入院患者の預り金をキャッシュレス化するICカード管理システムを導入（同上）再掲 ・各病院と協力し、RPA（ロボットによる業務自動化）などによる事務効率化の研究（本部） ・本部事務局と連携した「職員の相談窓口」の継続により、職員の心のケアの機会を確保（こども） 	（指標毎の評価）	機構全体	2	2	5	1	0	B	B	<p>●職場環境満足度は多くの病院で前年度に比べて向上しているものの、その水準は5病院中4病院で50%を切っており、さらなる職場環境の改善が必要である。</p> <p>●男性の育休取得率が向上している。引き続き取り組まれない。</p> <p>●各種管理システム導入を中心とした業務の効率化に積極的に取り組み、効果が上がり始めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境満足度は、阿南病院が令和4年度に比べて大きく改善したものの、その水準は令和5年度で満足度50.8%と低く、木曽病院でも令和4年度に比べて改善したが、その水準は令和5年度で満足度46.1%と低く、さらなる改善が必要である。 ・育休取得率は、男性取得率が令和4年度は25.0%であったところ令和5年度は45.5%と大幅に向上している。また女性取得率は100%を維持している。 		
	【職場環境満足度】		(単位：%)									
	病院名		令和4年度実績	令和5年度実績								
	信州医療センター		39.8	42.1								
	こころの医療センター駒ヶ根		48.2	44.0								
	阿南病院		35.0	50.8								
	木曽病院		41.4	46.1								
	こども病院		43.5	42.7								
	【育休取得率】		(単位：%)									
	項目名		令和4年度実績	令和5年度実績								
男性		25.0	45.5									
女性		100.0	100.0									
<p>●信州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育所「カンガルーのぼっけ」による職員の早期復帰への支援。 ・看護部では業務改善委員会を発足し、看護業務の見直しを実施。また、看護部職員の始業前業務に対する改善への取組を行った。 										-		
<p>●駒ヶ根</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月を「超過勤務縮減強化月間」として全職員に周知。超過勤務時間数が突出している職員に対して、事務部長及び次長が個別指導し、強化月間前よりも約3割削減 ・男性看護師4人が育児休業を取得 ・看護師の負担軽減や材料の適正管理のため、「医療材料在庫管理システム」を導入。看護師の材料管理業務時間が導入前よりも約4割減少 ・入院患者の利便性向上、病棟看護師の業務負担軽減を図るため、「ICカードキャッシュレス管理システム」の運用を開始（再掲） 										・「医療材料在庫管理システム」導入が看護師の材料管理業務時間削減の効果を上げている。		
<p>●阿南</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者の増員や業務内容及び業務範囲の見直しを行った。 										-		
<p>●木曽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働環境の整備について新たに病院基本方針に追加。 ・業務整理等により超過勤務時間数の減少（対前年比90%） 										-		
<p>●こども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境の整備について、育児短時間制度、育児部分休業制度及び育児時間の活用を進め、子育てと仕事の両立を図った。 ・本部事務局と連携した「職員の相談窓口」の継続により、職員の心のケアの機会を確保した。 										-		
<p>●本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部における医療の質と経営的な視点を両立させる適正な人数の検討。 ・各病院と協力し、RPA（ロボットによる業務自動化）などによる事務効率化の研究。 ・柔軟な働き方の研究（昨年度から試行している週休3日制については、継続して実施） ・保健師及び相談員による巡回健康相談を実施。 ・ストレスチェック及びメンタルヘルス巡回相談を実施しメンタル疾患を早期に把握。 										・RPAに代えて、より現状に適したBIツールや経営改善アプリケーションにより事務効率化の取組を開始している。		

大項目3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

機構の評定 C

県の評定 C

令和5年度計画	指標／法人自己評価	県評価
大項目3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	<p>小項目の自己評定で小項目3-1「経常黒字の維持」はC評定、小項目3-2「経営基盤の強化」はB評定とした。本大項目の自己評定については、上記のとおりB評定が1項目、C評定が1項目であったことからC評定とした。</p> <p>（今後の課題と方針） 令和6年度から令和9年度までに資金収支の均衡を目指す経営改善計画の達成を図るべく、外部コンサルタントを活用して、「機構未来プロジェクト」を開始し、収益確保と費用削減、投資の適正化の取組を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率が年度計画を下回り改善を要する。収益面では、医業収益が計画を大きく下回っており、コロナ後の受療動向の変化への対応が必要である。また、費用面では医業費用が計画内に収まらず特に給与費、材料費が前年度から増加している。 ・資金収支は、資金流出が拡大する傾向にあり、資金残高が減少して病院経営が危ぶまれる状況である。

【今後取り組むべき課題】

・収益面については、コロナ後の受療動向の変化で患者数が減少した状態が続く中ではあるが、さらなる診療報酬加算や施設基準、DPC評価係数の向上等により収益確保に取り組む必要がある。

・費用面については給与費では投資財政計画と連動した職員採用計画等を策定し適正規模・配置を管理していくことが必要である。また、材料費や医薬品費についても、現在の取組をさらに強化する必要がある。

・悪化している資金収支についても、投資・財政計画を策定・運用するとともに、適正な投資水準の設定・投資判断の体制を構築し、資金収支の均衡に向けて取り組まれない。

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価																														
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																														
小項目3-1 経常黒字の維持	（指標毎の評価）	機構全体			I		I	C	C																													
病院機構は、経営基盤の確立を目指し更なる経営健全化に努める。 また、今後必要となる設備投資を考慮し、適切な資金計画を策定する。 [人件費の見積り] 総額 14,224百万円を支出する。 当該金額は、役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。	【経常収支比率】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>100.0</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table> 【医業収支比率】 (単位：%) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>89.0</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>63.6</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>52.9</td> <td>53.7</td> </tr> <tr> <td>木曾病院</td> <td>74.8</td> <td>69.8</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>81.8</td> <td>76.0</td> </tr> </tbody> </table> 【資金収支】 (単位：百万円) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>▲774</td> <td>▲1,760</td> </tr> </tbody> </table> ●木曾 ・令和5年度の経常損益は約3億円の赤字。患者数減、コロナ病床確保料の減による収益減が影響。 ●こども ・経常収支は、新型コロナ病床確保料の減（対前年比118百万円の減）の影響もあり前年度実績を下回った。		令和5年度目標	令和5年度実績	病院機構全体	100.0	95.5	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	89.0	79.3	こころの医療センター駒ヶ根	63.6	62.7	阿南病院	52.9	53.7	木曾病院	74.8	69.8	こども病院	81.8	76.0		令和5年度目標	令和5年度実績	病院機構全体	▲774	▲1,760							<ul style="list-style-type: none"> ●経常収支比率は95.5%と、年度計画を下回った。 ●資金収支は▲1,760百万円と、年度計画を大幅に下回った。 ●医業収支比率は、5病院中4病院で年度計画を下回った。 ●人件費は14,434百万円であり、年度計画内に収まらなかった。
	令和5年度目標	令和5年度実績																																				
病院機構全体	100.0	95.5																																				
病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																				
信州医療センター	89.0	79.3																																				
こころの医療センター駒ヶ根	63.6	62.7																																				
阿南病院	52.9	53.7																																				
木曾病院	74.8	69.8																																				
こども病院	81.8	76.0																																				
	令和5年度目標	令和5年度実績																																				
病院機構全体	▲774	▲1,760																																				

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																														
	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																														
小項目3-2 経営基盤の強化	(指標毎の評価) 機構全体						B	B																														
細項目3-2-1 収益の確保	(指標毎の評価) 機構全体	1	21	42	0	0	B	B																														
<p>各病院は、様々な診療報酬加算や施設基準の取得のほかDPC係数向上の検討等、診療報酬改定に的確かつ迅速に対応し、収益を確保する。</p> <p>また、診療報酬請求漏れの防止、未収金の発生防止及び早期回収を行う。</p> <p>【令和5年度に推進する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科訪問看護ステーションの充実・強化による収益の向上(駒ヶ根) ・現行入院料の施設基準を満たすため、診療報酬改定において要件に追加された救急・急性期病棟データ提出加算の届出を開始(同上) ・DPC登録に関する院内での検討の推進(阿南) ・収益確保の観点から訪問看護ステーション化に向けた検討(木曽) ・患者数及び収益確保のため、1日あたり入院患者数及び病床稼働率の目標値を設定1日130人、病床稼働率80%以上し、各病棟及び院内全体で組織的に進捗管理(空床予測に基づく入院患者のコントロール)を行う(こども) ・休日の空床を有効利用するため休日予定検査の取組を推進(同上) ・経営改善の観点から薬剤に係るレセプトチェック強化、医薬品適正使用を推進(同上) ・多職種連携やチーム医療体制の強化による各種加算取得を推進(同上) ・JACHRI(日本小児総合医療施設協議会)診療情報分析連絡会での情報交換によるDPC請求における精度の向上(同上) ・令和4年度に更新した放射線治療装置(リニアック)を活用し、信州大学医学部附属病院と連携して全県的な小児がん治療体制の充実を図るとともに、地域医療支援病院として地域医療機関からの紹介による成人がん患者を対象とした治療を拡充(同上)再掲 ・R1装置による成人対象の認知症検査の件数増加を図るとともに、地域肺がん検診の精密検査医療機関として受託CT検査受入を継続(同上) 	<p>【医業収益】 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機構全体</td> <td>17,657,070</td> <td>18,784,000</td> <td>17,605,398</td> </tr> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>6,224,370</td> <td>6,622,545</td> <td>5,877,218</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>1,312,989</td> <td>1,371,216</td> <td>1,289,864</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>970,342</td> <td>927,281</td> <td>901,915</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>2,981,851</td> <td>3,142,825</td> <td>2,817,534</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>6,167,517</td> <td>6,719,811</td> <td>6,718,868</td> </tr> </tbody> </table> <p>●信州 ・施設基準について、特定行為に係る専門管理加算(7月)、地域医療体制確保加算及びハイリスク分娩管理加算(9月)、ウイルス疾患指導料(10月)、看護職員夜間配置加算(3月)を新規届出し、DPC係数向上及び収益向上に努めた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時特例が縮小したため、入院外来収益それぞれ対計画値で減少。</p> <p>●駒ヶ根 ・訪問看護のステーション化により「訪問看護管理療養費」の算定が可能となり、一訪問あたりの外来診療単価が6,500円から約12,000円に増加</p> <p>・救急入院料算定の要件であるデータ提出加算について、算定開始(算定実績501件)</p> <p>●木曽 ・医学管理等の算定手順の確立・周知徹底により算定件数増。6年度診療報酬改定に向けた病棟再編シミュレーションを実施。</p> <p>●こども ・経営企画室プロジェクトによる増収の取組により年間75,838千円の増収(空きベッド利用促進、休日予定検査、空き手術枠の活用等)</p>	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	機構全体	17,657,070	18,784,000	17,605,398	信州医療センター	6,224,370	6,622,545	5,877,218	こころの医療センター駒ヶ根	1,312,989	1,371,216	1,289,864	阿南病院	970,342	927,281	901,915	木曽病院	2,981,851	3,142,825	2,817,534	こども病院	6,167,517	6,719,811	6,718,868	<p>●機構全体の医業収益は、計画に対して約12億円下回った。コロナ後の受療動向の変化で患者数が減少した状況が続く中、さらなる診療報酬加算や施設基準、DPC評価係数の向上等に取り組む必要がある。</p> <p>・医業収益については、施設基準の新規届出や診療報酬算定の改善等、収益確保の取組が行われたが、阿南病院以外は計画を下回った。</p>								
病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績																																			
機構全体	17,657,070	18,784,000	17,605,398																																			
信州医療センター	6,224,370	6,622,545	5,877,218																																			
こころの医療センター駒ヶ根	1,312,989	1,371,216	1,289,864																																			
阿南病院	970,342	927,281	901,915																																			
木曽病院	2,981,851	3,142,825	2,817,534																																			
こども病院	6,167,517	6,719,811	6,718,868																																			
	<p>【延患者数】(入院) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>78,609</td> <td>67,195</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>38,287</td> <td>34,764</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>14,725</td> <td>14,733</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>42,030</td> <td>38,598</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>49,452</td> <td>47,319</td> </tr> </tbody> </table> <p>●信州 ・入院延患者数は、南7階病棟の新型コロナウイルス感染症専用病棟への転用、病棟の入退院制限により、計画比及び前年度比で減少。外来延患者数は、新型コロナウイルス感染症に係る患者数が大きく減少したため、対計画値、対前年度で減少。</p> <p>●こども ・入院患者数は、昨年度の新型コロナウイルス第7波、第8波の影響を受けた分娩件数の減少等があり、延入院患者数は対前年を上回ったが対計画では下回った。</p> <p>・外来患者数は、対前年及び対計画ともに上回り、新たな外来の設置や院内の各診療センターの取組、検査体制の整備など外来患者の増加に繋がる取組の成果と考えられる。</p>	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	78,609	67,195	こころの医療センター駒ヶ根	38,287	34,764	阿南病院	14,725	14,733	木曽病院	42,030	38,598	こども病院	49,452	47,319	<p>【延患者数】(外来) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>126,626</td> <td>120,281</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>39,355</td> <td>37,584</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>50,110</td> <td>43,141</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>121,292</td> <td>117,918</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>69,024</td> <td>69,427</td> </tr> </tbody> </table> <p>・入院延患者数については、新型コロナウイルス感染症病床への転用等の影響により阿南病院以外は計画を下回った。</p> <p>・外来延患者数については、こども病院のみ計画を上回った。</p>	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	126,626	120,281	こころの医療センター駒ヶ根	39,355	37,584	阿南病院	50,110	43,141	木曽病院	121,292	117,918	こども病院	69,024	69,427
病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																				
信州医療センター	78,609	67,195																																				
こころの医療センター駒ヶ根	38,287	34,764																																				
阿南病院	14,725	14,733																																				
木曽病院	42,030	38,598																																				
こども病院	49,452	47,319																																				
病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																				
信州医療センター	126,626	120,281																																				
こころの医療センター駒ヶ根	39,355	37,584																																				
阿南病院	50,110	43,141																																				
木曽病院	121,292	117,918																																				
こども病院	69,024	69,427																																				

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価	
	病院名	S	A	B	C	D	評定		
(3-2-1 続き)	【新患者数】(入院) (単位:人)			【新患者数】(外来) (単位:人)				-	
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名		令和5年度目標
	信州医療センター	4,250	4,430	信州医療センター	20,147	21,508	信州医療センター	20,147	21,508
	こころの医療センター-駒ヶ根	505	475	こころの医療センター-駒ヶ根	1,200	1,171	こころの医療センター-駒ヶ根	1,200	1,171
	阿南病院	840	756	阿南病院	2,650	3,462	阿南病院	2,650	3,462
	木曽病院	2,166	1,938	木曽病院	7,398	6,213	木曽病院	7,398	6,213
	こども病院	3,806	4,099	こども病院	3,869	3,796	こども病院	3,869	3,796
	【1人1日当たり診療単価】(入院)(税抜、単位:円)			【1人1日当たり診療単価】(外来)(税抜、単位:円)				<p>・1人1日当たり診療単価(入院)は、5病院中4病院で計画を上回った。 特に、こども病院では、平均在院日数の短縮や高額手術の増加薬剤の使用増加等による効果が表れ、大幅に上回った。</p>	
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名		令和5年度目標
	信州医療センター	54,739	54,875	信州医療センター	18,800	18,525	信州医療センター	18,800	18,525
	こころの医療センター-駒ヶ根	27,998	28,718	こころの医療センター-駒ヶ根	7,317	7,367	こころの医療センター-駒ヶ根	7,317	7,367
	阿南病院	35,628	33,957	阿南病院	9,148	9,759	阿南病院	9,148	9,759
	木曽病院	37,994	38,390	木曽病院	12,900	11,104	木曽病院	12,900	11,104
	こども病院	114,156	118,868	こども病院	13,195	13,178	こども病院	13,195	13,178
	<p>●信州 ・1人1日当たり診療単価は、入院については、各病棟間での情報共有や連携の強化、自宅や高齢者施設への積極的な退院支援等により対前年度比で増加。外来については、新型コロナウイルス感染症に係る患者数の減少による外来患者数の減少、外来化学療法件数の減少が影響し対前年度比で減少。 ●こども ・入院単価は、直近3年間で最も高い値となり、平均在院日数の短縮と高額手術の増加、脊髄性筋萎縮症(SMA)の患児1人に対する早期治療薬の投与や抗がん剤薬剤の使用増加等により、対計画、対前年ともに上回った。手術件数は、院内プロジェクト「空き手術枠の有効利用の促進」の取組等により対前年+13件増加し、特に高度専門的な手術実績が増加(県内初となる先天性心臓疾患に対するカテーテルによる人工心臓弁への置換手術、昨年度より新たに開始した側弯症手術等) ・外来単価は、昨年度12月に更新したリニアック装置のフル稼働、新設した外来の順調な稼働等により、対計画、対前年ともに下回った。</p>								
	【平均在院日数】 (単位:日)			【病床利用率】 (単位:%)				<p>・平均在院日数については、こころの医療センター-駒ヶ根及びこども病院で計画を上回った。個室化や緻密なベッドコントロール等が効果を上げている。</p>	
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	病院名		令和5年度目標
	信州医療センター	14.0	15.0	信州医療センター	80.1	73.2	信州医療センター	80.1	73.2
	こころの医療センター-駒ヶ根	75.0	72.4	こころの医療センター-駒ヶ根	80.2	72.6	こころの医療センター-駒ヶ根	80.2	72.6
	阿南病院	17.0	17.8	阿南病院	54.2	54.7	阿南病院	54.2	54.7
	木曽病院	15.6	16.4	木曽病院	67.0	58.3	木曽病院	67.0	58.3
	こども病院	12.5	11.4	こども病院	76.7	72.2	こども病院	76.7	72.2
	<p>●駒ヶ根 ・療養環境の改善、感染対策と病床利用率の向上のため、B1病棟の全室個室化を実施。工事期間中は、緻密なベッドコントロールにより患者数を大きく下げることなく、工事完了以降の利用率は上昇(工事完了後4か月平均79.5%、前年度比+7.4%) ・南信地域における精神科救急体制の課題対応、青年期精神疾患等依存症以外の疾患についても治療を行うため、開放病棟のA2病棟の閉鎖運用を開始。これにより病床利用率が上昇(5年度67.7%、前年度比+7.8%)</p>								

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																																
	病院名	S	A	B	C	D	評価	評価																																
(3-2-1 続き)	【DPC入院期間II以内退院率】 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>47.1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>木曾病院</td> <td>54.4</td> <td>56.2</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>30.3</td> <td>30.7</td> </tr> </tbody> </table>							病院名	令和4年度実績	令和5年度実績	信州医療センター	47.1	52.8	木曾病院	54.4	56.2	こども病院	30.3	30.7		・DPC入院期間II以内退院率は、対象3病院全てにおいて、令和4年度に比べて向上した。																			
病院名	令和4年度実績	令和5年度実績																																						
信州医療センター	47.1	52.8																																						
木曾病院	54.4	56.2																																						
こども病院	30.3	30.7																																						
細項目3-2-2 費用の抑制 病院機構は、診療材料や医薬品等の適切な管理により、コスト削減に努めるとともに、経営状況の分析を随時行い、費用対効果を意識した業務改善に積極的に取り組む。 【令和5年度に推進する事項】 ・ベンチマークシステムを活用した診療材料の価格交渉を継続(信州) ・薬局SPD(物品管理業務委託)を活用し、医薬品の適切な管理によるコストの削減(同上) ・看護師の業務負担軽減、適正な在庫管理を目的とした医療材料管理システムを導入(駒ヶ根)再掲 ・SPD導入による診療材料管理の適正化(木曾) ・費用削減の目標値を設定し院内全体での取組推進と進捗管理(こども) ・病院と機構本部が連携した卸業者又はメーカーとの価格交渉の実施等による医薬品費及び診療材料費の削減(本部) ・長野赤十字病院等との「診療材料等に関する協定書」への参加(同上) ・医薬品卸評価制度の試行(同上)	(指標毎の評価) <table border="1"> <thead> <tr> <th>機構全体</th> <th>I</th> <th>22</th> <th>34</th> <th>I</th> <th>0</th> <th>B</th> </tr> </thead> </table>	機構全体	I	22	34	I	0	B	B	【医業費用】 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度計画</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機構全体</td> <td>23,559,527</td> <td>23,674,595</td> <td>24,027,081</td> </tr> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>7,535,504</td> <td>7,549,113</td> <td>7,413,055</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>2,085,843</td> <td>2,106,289</td> <td>2,056,064</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>1,693,778</td> <td>1,730,022</td> <td>1,678,803</td> </tr> <tr> <td>木曾病院</td> <td>4,042,479</td> <td>4,080,770</td> <td>4,039,362</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>8,201,924</td> <td>8,208,401</td> <td>8,839,797</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績	機構全体	23,559,527	23,674,595	24,027,081	信州医療センター	7,535,504	7,549,113	7,413,055	こころの医療センター駒ヶ根	2,085,843	2,106,289	2,056,064	阿南病院	1,693,778	1,730,022	1,678,803	木曾病院	4,042,479	4,080,770	4,039,362	こども病院	8,201,924	8,208,401	8,839,797	●信州 ・ベンチマークシステムのデータを用いて、4月よりディーラーと診療材料の価格交渉を実施し、年度換算で2,050千円の削減見込み。逆ザヤ品171品目のうち76品目(44.4%)を解消。 ・医薬品については、後発品への採用切替を18品目(うちバイオシミラーは3品目)で実施し、年度換算で10,537千円(うちバイオシミラーは9,162千円)の削減見込み。 ・医療機器の購入については、ベンチマークシステムを活用するとともに、院長面談等による価格交渉を強化。 ●阿南 ・超勤縮減の取組、休日勤務の振替休日の徹底により手当支給額を削減し、給与費を抑制。 ●木曾 ・定時退勤の推進及び業務改善の実施による超過勤務の削減。 ・経営改善ニュースでの費用の見える化によるコスト意識の醸成。 ・手術・中央材料室へのSPD導入を開始。 ●こども ・医業費用は、給与費で人事委員会勧告の影響や交代制勤務への対応のための増員、材料費で当院でしか行えない高額薬剤による治療や手術件数の増により増加した。 ・経営企画室プロジェクトによる費用抑制の取組により年間40,000千円の経費削減(診療材料費のメーカー値上げ前の預託在庫の事前確保、寄附金や研究費の間接経費などの使用目的に即した外部資金の有効活用、一部保守点検の内製化等)	●医業費用全体では、令和5年度の実績は計画より約3.5億円多く、特に給与費は令和4年度から約1.5億円増加している。給与費の計画的な管理が重要課題である。 また材料費の増加が令和4年度に比べて大きい病院は、具体的な改善策を講じられたい。 ・医業費用は、こども病院以外は計画内に収まっている。 ・こども病院は、医業費用が5病院中唯一、令和4年度に比べて増加、かつ令和5年度計画を上回った。令和4年度に対する医業収益増加額は医業収益の増加額を上回っており、年度計画にある「費用削減の目標値を設定し院内全体での取組推進と進捗管理」の検証が必要である。 ・本部による医薬品の価格交渉の値引き率が全国平均より大きい。引き続き取り組まれない。
機構全体	I	22	34	I	0	B																																		
病院名	令和4年度実績	令和5年度計画	令和5年度実績																																					
機構全体	23,559,527	23,674,595	24,027,081																																					
信州医療センター	7,535,504	7,549,113	7,413,055																																					
こころの医療センター駒ヶ根	2,085,843	2,106,289	2,056,064																																					
阿南病院	1,693,778	1,730,022	1,678,803																																					
木曾病院	4,042,479	4,080,770	4,039,362																																					
こども病院	8,201,924	8,208,401	8,839,797																																					

令和5年度計画	指標／法人自己評価（S～Dの個数）							県評価																																			
	病院名	S	A	B	C	D	評価																																				
(3-2-2 続き)	【医療材料費／医業収益比率】 （税抜、単位：％）							・医療材料費／医業収益比率は、こども病院において大幅に計画を下回って（計画を超える費用）おり、具体的な改善策が必要である。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>27.4</td> <td>30.2</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>6.3</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>15.3</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>24.5</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>20.3</td> <td>24.3</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	27.4		30.2	こころの医療センター駒ヶ根	6.3	5.6	阿南病院	15.3	15.4	木曽病院	24.5	20.7	こども病院	20.3	24.3																						
	病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																								
信州医療センター	27.4	30.2																																									
こころの医療センター駒ヶ根	6.3	5.6																																									
阿南病院	15.3	15.4																																									
木曽病院	24.5	20.7																																									
こども病院	20.3	24.3																																									
●駒ヶ根 ・看護師の負担軽減や材料の適正管理のため、「医療材料在庫管理システム」を導入。看護師の材料管理業務時間が導入前よりも約4割減少（再掲） ●阿南 ・診療材料の在庫管理、購入品目の見直しを行い、コスト削減を図った。 ●本部 ・コンサルタント、各病院の薬剤部長等と連携した医薬品の価格交渉を行い、上期14.5%、下期14.7%の値引き率となった。 ・長野赤十字病院等との「診療材料等に関する協定書」への参加、医薬品卸評価制度の試行																																											
【職員数（4月1日時点）】 （単位：人）		【給与費】 （単位：百万円）					・職員数は、令和4年度に比べて増加しており、それに伴い給与費も増加している。職員の適正規模・配置は収益・費用の両面に大きな影響を及ぼすことから、投資財政計画と連動した職員採用計画等を策定することにより、適正規模・配置に努められたい。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機構全体</td> <td>1,519</td> <td>1,526</td> </tr> <tr> <td>（うち医師）</td> <td>198</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>（うち看護師）</td> <td>883</td> <td>883</td> </tr> <tr> <td>（うちその他）</td> <td>438</td> <td>434</td> </tr> </tbody> </table>		項目名	令和4年度実績	令和5年度実績	機構全体	1,519		1,526	（うち医師）	198	209	（うち看護師）	883	883	（うちその他）	438	434	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費 全体</td> <td>14,265</td> <td>14,418</td> </tr> <tr> <td>（うち給料）</td> <td>5,598</td> <td>5,621</td> </tr> <tr> <td>（うち超過勤務）</td> <td>729</td> <td>718</td> </tr> <tr> <td>（うち休日給）</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>（うち賞与）</td> <td>2,318</td> <td>2,321</td> </tr> <tr> <td>（うち法定福利費）</td> <td>1,930</td> <td>1,932</td> </tr> </tbody> </table>		項目名	令和4年度実績	令和5年度実績	給与費 全体	14,265	14,418	（うち給料）	5,598	5,621	（うち超過勤務）	729	718	（うち休日給）	5	1	（うち賞与）	2,318	2,321	（うち法定福利費）	1,930	1,932			
項目名	令和4年度実績	令和5年度実績																																									
機構全体	1,519	1,526																																									
（うち医師）	198	209																																									
（うち看護師）	883	883																																									
（うちその他）	438	434																																									
項目名	令和4年度実績	令和5年度実績																																									
給与費 全体	14,265	14,418																																									
（うち給料）	5,598	5,621																																									
（うち超過勤務）	729	718																																									
（うち休日給）	5	1																																									
（うち賞与）	2,318	2,321																																									
（うち法定福利費）	1,930	1,932																																									
【ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）】 （単位：％）							・ジェネリック医薬品使用割合は、5病院全てで計画を上回っている。引き続き取り組まねたい。																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和5年度目標</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州医療センター</td> <td>90.0</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センター駒ヶ根</td> <td>90.0</td> <td>98.3</td> </tr> <tr> <td>阿南病院</td> <td>86.0</td> <td>87.8</td> </tr> <tr> <td>木曽病院</td> <td>90.0</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>こども病院</td> <td>90.0</td> <td>92.2</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	令和5年度目標	令和5年度実績	信州医療センター	90.0		93.7	こころの医療センター駒ヶ根	90.0	98.3	阿南病院	86.0	87.8	木曽病院	90.0	93.3	こども病院	90.0	92.2																							
病院名	令和5年度目標	令和5年度実績																																									
信州医療センター	90.0	93.7																																									
こころの医療センター駒ヶ根	90.0	98.3																																									
阿南病院	86.0	87.8																																									
木曽病院	90.0	93.3																																									
こども病院	90.0	92.2																																									

大項目4 その他業務運営に関する事項

機構の評定 C

県の評定 C

令和5年度計画	指標/法人自己評価	県評価
大項目4 その他業務運営に関する事項	<p>小項目の自己評定で小項目4-1「コンプライアンスの推進と適切な情報管理」はB評定、小項目4-2「施設整備及び医療機器に関する事項」はD評定とした。本大項目の自己評定については、上記のとおりB評定が1項目、D評定が1項目であったことから、C評定とした。</p> <p>(今後の課題と方針) 近年増加しているサイバー攻撃などへの備えを進めるとともに、長期的な視野に立った効率的かつ効果的な施設及び医療機器の整備に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会の開催によりコンプライアンスの強化及び適切な個人情報の管理が図られており、概ね適正な業務運営に向けた取組が行われている。 経常収支の大幅な赤字に伴いキャッシュフローがマイナスとなったことから、設備整備等については、年度計画を下回っており、改善を要する。

【今後取り組むべき課題】

- 令和5年7月6日付け機構プレスリリースのとおり、パワーハラスメント事案が発生したことから、ハラスメント防止対策について措置を講じる必要がある(地方独立行政法人長野県立病院機構の各事業年度の業務実績に関する評価実施要領1(3)該当)。
- 引き続き、コンプライアンスの推進及びサイバー攻撃へのセキュリティ対策など情報管理の徹底等、適正な業務運営に取り組まれない。
- 今後の経営状況と医療提供を考慮した適切な設備投資の規模・水準について、令和6年度から開始している「機構未来プロジェクト」にて検討されたい。
- 設備投資については将来の償還額や資金残高とのバランスが必須であることから、機構本部と各病院との間で投資・財政計画等を共有・運用されたい。

令和5年度計画	指標/法人自己評価 (S~Dの個数)							県評価																																					
	(指標毎の評定)	病院名	S	A	B	C	D	評定	評定																																				
小項目4-1 コンプライアンスの推進と適切な情報管理 <p>病院機構は、各種研修会等の開催により、法人内のコンプライアンス(法令等を遵守するとともに社会規範を尊重して行動すること)の強化を図るとともに、内部統制委員会及びリスク管理委員会の活動を通じてリスク等の特定と評価及び対応を行い適切な業務運営を図る。</p> <p>また、個人情報保護法や長野県情報公開条例等に基づき、保有する個人情報の適切な情報管理と情報セキュリティ対策を講じるとともに、定期的な研修等により、職員の理解を深める。</p>	(指標毎の評定)	機構全体		3	3	2		B	C																																				
<p>【研修受講率】 (単位: %)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>病院</th> <th>令和4年度実績</th> <th>令和5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンプライアンス研修</td> <td>機構全体</td> <td>64.3</td> <td>67.5</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ及び個人情報保護研修</td> <td>信州医療センター</td> <td>60.0</td> <td>55.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>こころの医療センター-駒ヶ根</td> <td>93.2</td> <td>75.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>阿南病院</td> <td>94.3</td> <td>44.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木曽病院</td> <td>86.1</td> <td>99.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>こども病院</td> <td>99.8</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>信州木曽看護専門学校</td> <td>100.0</td> <td>70.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本部</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>										項目名	病院	令和4年度実績	令和5年度実績	コンプライアンス研修	機構全体	64.3	67.5	情報セキュリティ及び個人情報保護研修	信州医療センター	60.0	55.8		こころの医療センター-駒ヶ根	93.2	75.7		阿南病院	94.3	44.8		木曽病院	86.1	99.7		こども病院	99.8	91.9		信州木曽看護専門学校	100.0	70.6		本部	100.0	100.0
項目名	病院	令和4年度実績	令和5年度実績																																										
コンプライアンス研修	機構全体	64.3	67.5																																										
情報セキュリティ及び個人情報保護研修	信州医療センター	60.0	55.8																																										
	こころの医療センター-駒ヶ根	93.2	75.7																																										
	阿南病院	94.3	44.8																																										
	木曽病院	86.1	99.7																																										
	こども病院	99.8	91.9																																										
	信州木曽看護専門学校	100.0	70.6																																										
	本部	100.0	100.0																																										
<p>●各種研修会の開催等を通して、コンプライアンスの強化や情報セキュリティ及び個人情報保護について職員の理解促進を図っている。</p> <p>・情報セキュリティ及び個人情報保護研修の受講率は、阿南病院で対前年度5割を切っており、改善が必要である。</p> <p>・また、信州木曽看護専門学校では受講率が令和4年度に比べて大幅に下がっており、改善が必要である。</p> <p>●令和5年7月6日付け機構プレスリリースのとおり、パワーハラスメント事案が発生したことから、ハラスメント防止対策について措置を講じる必要がある。(再掲)</p>																																													

